

平成 20 年度 第 2 回 宮前区区民会議

平成 20 年 8 月 6 日(水) 18 時 00 分 ~ 20 時 30 分

宮前区役所 4 階 大会議室

次 第

1 開 会

2 議 事

(1) 第 1 期区民会議からの提案に対する取組状況について

(2) 専門部会の審議状況について

ア 公園・地域づくり部会報告

イ 宮前区の宝さがし～ときめき再発見～部会報告

ウ 企画部会報告

3 報 告

(1) 平成 19 年度宮前区協働推進事業評価について

(2) 平成 20 年度川崎市総合防災訓練の概要について

(3) CCかわさきの取組について

4 その他

配布資料

資料 1 第 1 期宮前区区民会議からの提案に対する取組状況

資料 2 宮前区区民会議 公園・地域づくり部会の審議状況

資料 3 宮前区区民会議 宮前区の宝さがし～ときめき再発見～部会の審議状況

資料 4 第 2 期宮前区区民会議 今後のスケジュール(案)

資料 5 平成 19 年度・平成 20 年度 宮前区協働推進事業一覧

資料 6 平成 20 年度川崎市総合防災訓練概要

資料 7 CCかわさきの取組について

第 1 期宮前区区民会議からの提案に対する取組状況

高齢者福祉（18 年度提案）

提案 「ご近所サークルの形成」

「わたしの町のスこやか活動」について、平成 20 年度から「宮前第 4 すこやか活動推進委員会」と「東有馬きずなの会」の 2 団体が新規申請し認定され、新たに活動を開始した（宮前区内で合計 8 ヶ所）

提案 「地域ぐるみの散歩活動などの実施」

新しい公園体操グループが 2 ヶ所立ち上がった（それぞれ週 1 回の開催）
ひだまり体操：南菅生第 2 公園（金曜） 7 月から
神木なかよし体操：フレンド神木駐車場（水曜）6 月から
それぞれの活動内容を紹介しあうなどの情報交換を行う公園体操交流会を 21 年 2 月に開催する方向で検討中

提案 「成年後見制度の普及啓発」

宮前区地域ケア連絡会議全体会「おしえて成年後見制度パート」を開催
開催日時 平成 20 年 7 月 16 日（水）13:30～16:00
開催場所 宮前区役所大会議室
主催 宮前区地域ケア連絡会議・宮前区地域自立支援協議会
内容 あんしんセンター紹介/ DVD 上映/ 区民の現場レポート/ 司法書士による講演

地域コミュニティ（19 年度提案）

提案 「小学校区単位で地域の特徴を活かしたコミュニティ促進」

20 年度区の課題解決に向けた取組「商店街と連携した地域コミュニティ促進事業」における商店舗等を利用した高齢者や子育てなどの課題解決に繋がる講座等の開催
地域のお祭りなどの情報を地域ごとにわかりやすく発信することをめざした区ホームページや地域ポータルサイト「みやまえぼーたろう」への掲載（第 1 段階）より広く地域へ情報発信するための地域の情報カレンダー（紙ベース）の発行（第 2 段階）
小学校区子ども安全・安心協議会における防犯講習会などの出前講座の実施支援
地域教育会議での地域安全マップづくりにおける小学校区子ども安全・安心協議会との連携支援
宮前区子ども安全・安心協議会総会にて、宮前区地域教育会議と連携して地域安全マップづくりの取り組みについて承認を得る。併せて、委員を通して、各小学校区の子ども安全・安心協議会に対して募集をかける（7/11）宮前平小学校から申込あり
区役所で、地域のスポーツ・イベント・お祭りなどの情報の提供を受け、区役所内掲示板やホームページ等で発信する取組を 8 月から開始した。今後はイベントカレンダーの発行も予定

提案 「地域のたまり場」の創出

ご近所サークルや赤ちゃん広場など、地域での取組をビデオ、市政だより等により紹介（継続）
20 年度区の課題解決に向けた取組「商店街と連携した地域コミュニティ促進事業」における商店舗等を利用した地域のたまり場の創出支援

【提案 共通】

「宮前区地域課題の解決を図る事業提案制度」で区民会議からの解決策の実施団体を募集(5/1～5/31)したところ、応募はあったがプレゼンテーションの結果、採用に至らず
このため、別途新たに企画を考え、さぎ沼商店会主催によるオリジナルエコバッグコンテストを実施することを決定 8 月市政だより等で開催周知
その他、蔵敷・東有馬でも商店街と連携した何らかの取組を今年度中に実施する方向で検討中

提案 「『地域のつなぎ手』の育成」

ご近所サークルや赤ちゃん広場など、地域での取組をビデオ、市政だより等により紹介（継続）
20 年度区の課題解決に向けた取組「商店街と連携した地域コミュニティ促進事業」における商店舗等を利用した地域のたまり場の創出支援

当該提案については具体的な事業を実施するものではないため、この 1 ヶ月間においては具体的な取組は行われていない。

子育て支援（18 年度提案）

提案 「赤ちゃん広場の拡充」

平成 20 年 7 月 4 日に運営主体であるカンガルーネットワークとの懇談会が開催され、互いの役割や連携について意見交換を実施した。
宮前第 4 地区民生委員・児童委員協議会では、子育て支援の場として区社会福祉協議会及び区役所の支援のもと、「すくすく土橋」に新たに「すくすくけやき平」を 9 月から開設することとなった。
対象：けやき平・神木地区
場所：グリーンハイツ集会室

提案 「子育て関連支援組織による協議会(ネットワーク)の立上げと運営」

平成 20 年 6 月 11 日に子育て支援関係者連絡会主催で、転入された親子を対象に「うえるかむクラス」を開催し、65 組の参加があった。

地域防災（19 年度提案）

提案 「(仮称)宮前区版「みんなでやろう防災対策」の作成」

区民との協働による防災意識向上に向けた防災対策資料の作成と活用
20 年度協働推進事業「防災意識普及啓発事業」における防災ニュースの町内会・自治会への回覧や防災フェアの開催などを通じた地域や各種団体への防災意識の普及啓発
区ホームページへの防災や防犯、安全・安心に関するページの作成による情報発信

防災対策資料は年内 12 月をめどにまちづくり協議会と協働で作成するとともに、各種行事で配布して活用することで宮前区まちづくり協議会と合意

防災ニュースについて、まちづくり協議会と協議を重ね、今年度は 9・12・3 月に 7,000 部ずつ発行することとなった。内容は、自助に関することや備蓄品・非常持出品などを予定

防災フェアは、昨年度にまちづくり協議会が有馬小売市場跡地で行った実績を踏まえ、まちづくり協議会と協働して行うよう調整中

実施時期：他の行事と共催するか平成 21 年 1 月の防災とボランティアの週間にあわせ実施する。

実施内容：家屋の耐震化の推進、家具等の転等防止器具や防災資機材の展示、紹介、市民救命士講習、防災講習など

地域における自主防災組織の取組や防犯活動への取組状況などについて、各団体と調整のうえ 9 月をめどに区役所ホームページに掲載する（できるものから順次実施）。

提案 「防災出前講座の拡充」

小学校区子ども安全・安心協議会における防災に関する出前講座の実施支援
20 年度区の課題解決に向けた取組「商店街と連携した地域コミュニティ促進事業」における商店舗等を利用した防災に関する講座等の検討
保育園や幼稚園、赤ちゃん広場などにおける出前講座の実施支援

次のとおり、子ども安全・安心協議会や赤ちゃん広場に区職員が赴き、出前講座の受講を促した

・赤ちゃん広場：6/19（平公文）、6/23（宮前平公文）、7/8（保健福祉センター）、7/15（有馬公文）

・子ども安全安心協議会：4/25（平小）、5/12（鷺沼小）、7/1（役員会）、7/11（総会）

・その他：保育園長会（7/17）

フレンド神木地域包括支援センターで、渡辺委員（第 1 期の地域防災部会長）が講師となり出前講座を実施（7/15）

・内容：宮前区被害予測/内閣府「1 日前プロジェクト」/川崎市防災マップ/災害時要援護者避難支援制度

提案 「(仮称)宮前区防災推進員の育成」

20 年度協働推進事業「防災意識普及啓発事業」における取組
研修会の開催による区独自の防災推進員の養成
防災ニュースの町内会・自治会への回覧や防災フェアの開催などを通じた地域や各種団体への防災意識の普及啓発

他都市の類似の制度等を調査した。また、防災推進員の養成については次のとおり行うことを決定した

・実施時期：平成 20 年 9 月を目途に、対象者等の募集を行い、10 月から 3 回の研修を行う

・研修内容：近年の自然災害・市の防災対策・自助、共助の重要性・市民救命士（消防局）の資格取得など

宮前区区民会議 公園・地域づくり部会 検討経過

区民会議 平成20年 高齢者や子育て支援活動における活用や世代間交流などが期待できる
 全体会 5月23日 「地域の庭」として、公園を審議対象テーマに選定

第1回部会 平成20年 部会名称の決定
 6月16日 具体的な審議テーマについて
 宮前区の公園緑地の現状と課題について

■部会名称は「公園・地域づくり部会」に決定

■具体的な審議テーマ

- ・公園という場を活用した、「高齢者支援、子育て支援、多世代交流、地域コミュニティづくり」といった利活用のあり方（ソフト面）
- ・「地域特性に応じた魅力ある公園づくり」といった公園の維持管理・整備（ハード面）
- ・公園を活用しようにも現実には維持管理の水準が十分でない公園もある
- ・ハード面が十分であるからといって行きやすい・利用しやすい公園には必ずしもならない

【配布資料】

- ・部会の具体的な審議テーマについて（たたき台）
- ・川崎市緑の基本計画（抜粋）
- ・地元管理運営マニュアル
- ・宮前区の公園緑地一覧
- ・公園・緑地等位置図
- ・統計資料

両者を対立させて考えない・・・

■公園緑地の現状と課題について（西部公園事務所から説明）

- ・19年度まで維持管理の予算が減り続けており、行政として十分な維持管理ができていない状態
- ・地域の公園は地域が主体となって維持管理をしていただくのが、現在の川崎の基本方針
 →公園緑地管理運営協議会、公園緑地愛護会の活性化が必要
- ・各委員が公園に対して抱いているイメージや問題意識についてフリートーキング

第2回部会 平成20年 第1回部会の論点整理と今後の議論の進め方について
 7月7日 公園や地域コミュニティ等に関する現状と課題について

■第1回部会を踏まえた議論の方向性

- ・公園整備そのものを目的とするのではなく、公園という場を活用していかに地域コミュニティを活性化させていくか、という目的のもとソフト面・ハード面を含めた解決策を検討していく

【配布資料】

- ・公園・地域づくり部会（第1回）の論点整理と今後の審議の進め方について
- ・議論ペーパー（白紙）
- ・身近な公園の良い点・悪い点一覧表

■今後の審議のスケジュール・進め方

- ・部会設置期間：第2期の期間中を通して審議を行うものとする
- ・部会案の報告時期：現段階では特に定めず、課題解決策がまとまり次第順次報告する

【進め方】

審議の目的を共有



現状と課題の把握



課題の原因分析



課題解決策の審議

■委員による地域の公園の現状把握

- ・第1回部会と第2回部会との間に、部会委員が近所の公園の良い点・悪い点や公園で行われている地域活動などを調査（全22公園）し、その結果を報告
 →今後、この調査を元に良い点・悪い点を一般化し、理想とする公園像を導き出す
 →理想とする公園像をベースに、地域コミュニティの活性化につなげていく方策を議論する

身近な公園の良い点・悪い点一覧表

名称	所在地	良い点	悪い点	事業・イベント			その他
				名称	対象者	内容	
1 菅生公園 菅生第2公園	菅生 6-3-8 菅生 6-19-1	<ul style="list-style-type: none"> 遊具が好きで子どもがよく遊びに来る ちょうどよい具合に木があり、夏場もそれほど暑くならない きれいな花壇がある 	<ul style="list-style-type: none"> 砂場に猫のフンがあり、子どもを遊ばせたくない 看板が錆びており公園名も分かりにくい。公園のイメージが良く感じられない 			 	<ul style="list-style-type: none"> 遊具が老朽化すると怖い感じがするが、ここの遊具はペンキで絵を描くことで生れ変わっており良いと感じた。
2 菅生第3公園	菅生 5-22-1	<ul style="list-style-type: none"> ゴミなどはあまり落ちていない 	<ul style="list-style-type: none"> 遊具が少なく、子どもが小さい頃も数回しか行かない 砂場にシートがかかっているが、脇に猫のフンがある。シートは紐で縛られており、使うのが面倒 落書きがある 木がそれほど多くないのに、日当たりが悪い 				
3 菅生第4公園	菅生 3-33-9	<ul style="list-style-type: none"> 安全な子どもの遊び場 日当たりがよくグラウンドや小学生向けの遊具があり、放課後は子どもたちがよく遊んでいる 砂場は手入れがよく小さな子どもを遊ばせやすい トイレがある 花壇がある 	<ul style="list-style-type: none"> 段差があり、高所は崩れる 火遊びしやすい 砂場のすぐ近くにトイレがあり臭いが気になる 	夏祭り	子ども大人	300名以上参加。フリーマーケット、売店 青年部婦人部子供会による	
				ラジオ体操	大人	週2回。30~50名参加	
				体操	高齢者	鷲ヶ峯地域包括支援センターがかかわり、テープに合わせて体操をしている。参加者約20名	
				ゲートボール	高齢者	週1回。約20名参加	
4 菅生みどり公園	菅生 6-31-3	<ul style="list-style-type: none"> 砂場、トイレ、時計があり、見晴らしも良く気持ちが良い ゲートボール場がある トイレはきれい 	<ul style="list-style-type: none"> 雑草が伸びており、ゴミがたくさん落ちていた 砂場も枝や草が生えていた 			 	<ul style="list-style-type: none"> 公園緑地愛護会あり 夏場は若者の溜まり場になっているようで、青少年指導員の方が必ず立ち寄る場所だそうです。
5 菅生緑地	水沢1-3	<ul style="list-style-type: none"> 広く木登りなど自然遊びからかくれんぼ、遊具、散歩、バトミントン、キャッチボールなど、さまざまな遊びができる トイレ、時計、ベンチがあり、子どもから大人まで多くの人に利用されている 秋には銀杏並木がきれいに色づき、通る人の心を和ませる 	<ul style="list-style-type: none"> 北部市場から見て奥に茂みがあり、防犯面で心配。警察の方に連れられた男性をみたことがあり、それからは心配になった 暮らしている方がいるのか、洗濯物や布団が干してあるときがある トイレに落書きや焦げたあとがあり怖い感じがする 障害者用トイレがあるが、安全面からか鍵がかけられており使用できない 				<ul style="list-style-type: none"> 利用者のマナーが気になる。 夕方に犬を連れられた方が多く、中には大型犬をリードなしで自由に走らせていることがある。 花見のシーズンになると、直火不可なのに、バーベキューをする人がいる 公園利用者の方なのか、休日にはたくさんの路上駐車が目立つ
6 鷲ヶ峰子供里公園	菅生ヶ丘19-1	<ul style="list-style-type: none"> 尾根道沿いにありハイキングコースになっている 眺めがいい ローラーの長い滑り台や急な角度の滑り台があり面白い 雑木林でかくれんぼや探検ごっこなどができる 	<ul style="list-style-type: none"> 段差が多い 雑木林が多く子どもにとって好奇心がくすぐられる良い公園だと思うが(自分が子どもの頃は好きな公園でした)大人になった今公園を見ると、昼間でも薄暗く防犯面が心配になる。 実際に小火騒ぎが起きている。 	盆踊り	自治会内全体	2日間。約500名参加。子供会の売店	<ul style="list-style-type: none"> ゲートボール場があり、夕方になるとそこでボール遊びをする子どもがいる
				ラジオ体操	子ども	夏休み期間中連日。PTA主催。約30名参加	
				老人会ゲートボール	老人会	月水金。10~15名参加	
				4地区親善ゲートボール大会		月1回第2金曜 菅生ヶ丘、蔵敷、初山、長沢の4地区	
				宮前区ゲートボール審判員研修会		毎月第1土曜日。20名参加	

身近な公園の良い点・悪い点一覧表

	名称	所在地	良い点	悪い点	事業・イベント			その他
					名称	対象者	内容	
7	鷺ヶ峰公園	菅生 3-43-22	<ul style="list-style-type: none"> バス通り沿いにあり、樹木の剪定により明るい公園 花壇の手入れがいい 子どもたち等人が来ている 自治会の役員が変わっても変わらない公園の事務局員が複数いる。 	<ul style="list-style-type: none"> 落葉の利用者がまだ少ない。 	盆踊り	自治会内全体	2日間。約350名参加。売店は実行委員。婦人部、子供会 他	
					お祭り神酒所設置	子ども他一般	約300名参加。菅生神社の例祭。	
8	鷺ヶ峰けや木公園	菅生ヶ丘 33-1	<ul style="list-style-type: none"> 公園は広く見渡しやすい 車などの危険が少なく、子どもをのびのびと遊ばせることができる 	<ul style="list-style-type: none"> 団地に隣接されているが、団地側からは見えにくく、反対側の道路からはまったく公園が見えない 公園の隣には空き地もあり、防犯面で心配だと感じる 	盆踊り	近隣住民	盆踊り	<ul style="list-style-type: none"> 広くて良い公園だと思うのですが、遊んでいる子どもを見かけることが少ない
9	野川第2公園	野川 3136-2	<ul style="list-style-type: none"> 大きい立ち木が多いので、日陰があり快適 周りが金網なので、見通しが良く安全 雨に対し水はけが良い 	<ul style="list-style-type: none"> トイレが無い 三角形の公園で、2面金網で、1面鉄柵のため、ボールが道路に飛び出し危険 犬の連れ込み禁止看板がほしい(13名のお母さんに聞く) 				
10	鷺沼第1公園	鷺沼 1-20	<ul style="list-style-type: none"> 駅からも近く乳幼児を連れた方や保育園の子どもたちをよく見かける 木陰もあり秋には紅葉がきれい 	<ul style="list-style-type: none"> 遊具の奥のベンチは見えづらくゴミや吸殻、落書きも書かれている 公園の裏に向かう通路は暗く防犯面は心配 下の入り口周辺は人通りがあまりなく、トイレ代わりに利用する男性を見かける。衛生面が気になる 				<ul style="list-style-type: none"> 子どもを遊ばせている方に聞いたところ「砂場」には猫のフンなどはなく、小枝があるくらいで、使い辛さを感じたことはない
11	鷺沼公園	鷺沼 2-10-1	<ul style="list-style-type: none"> 敷地も広くグラウンドと遊具の場所が分かれている トイレなどもあり、子どもを遊ばせやすい 緑が多く夏場でも暑さをしのぎながら遊べる ごみなどはほとんどなく、きれい 遊具もきれいに使用されている 	<ul style="list-style-type: none"> 以前、遊具があった場所に今はないため、草や木が伸びており、防犯面での危険があるように感じる 	さわやか体操	高齢者対象だが、オープンで誰でも参加できる	毎週日曜、朝9時半～10時までの30分テープに合わせて体操をする 	<ul style="list-style-type: none"> 公園緑地愛護会あり 公園を見るといつも多くの方が利用されていますが、注意書きが遊具に貼ってあり、多くの方が利用者するのはよいことだけど問題も発生してくるのだろうかと思いました。
12	鷺沼北公園	鷺沼 4-11-45	<ul style="list-style-type: none"> 電灯の数が多く夜間でも他の公園と比べると明るい(雑木林は暗い) 砂場などはいつもきれいで子どもを遊ばせやすい もともとあった自然の花(オカトラノオヤブランなど)を生かしている 時計があって時間がわかりやすい 公園から見える景色がきれい(どの方角に何があるかの標識もある) 	<ul style="list-style-type: none"> 高台にあり崖の下から登る子どもがいて危ない(私はがんばれと思うほうですが...) 雑木林があり昼間でも暗く見通しが悪く、防犯面で危険が感じられる 景色の良い反面(夜景の名所などにも紹介)景色が良く見えるベンチ付近には、ゴミや煙草の吸殻などが捨ててある 雑木林などが多いため、火事にならないか心配なときがある 遊具以外の破損や、落書きをされることもあるそうです 				<ul style="list-style-type: none"> イベントはないが、初日の出や多摩川花火大会の日には多くの方が訪れています

身近な公園の良い点・悪い点一覧表

No.	名称	所在地	良い点	悪い点	事業・イベント			その他
					名称	対象者	内容	
13	蔵敷公園	菅 生 5-23-45		<ul style="list-style-type: none"> ・ 砂場にシートがあるが、壊れかかり、上から流れてきたのか、砂ではなく土が入っている ・ 高齢者体操が開催されているが、地面はでこぼこしており、石ころがたくさんあり、転倒の危険性がある ・ 日当たりが悪く暗い感じがする ・ 住宅街の中にあるが、飲食店の裏にあるため、人があまり通らず、防犯面が気になる 	高齢者の体操	高齢者	鷲ヶ峯地域包括支援センターがかかわり、テープにあわせて体操をしている。参加者約20名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公園緑地管理運営協議会あり ・ 「体操に来て交流できることが楽しみ」「体操がなかったら公園に来ることはない」と話していた。 ・ 体操を行う場所がでこぼこしていたり石ころがあるため、人を誘うにも転んだらと思うと声をかけられないと話していた。 ・ 砂場にシートがあり遊んではいけないと思っていた。孫と遊びたいが砂場が使えない。管理が悪いから近くの蔵敷第3公園に孫を連れて行くと話された。
14	蔵敷第3公園	菅 生 5-22-4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 眺めがよい ・ 明るい ・ 子どもが小さなころに利用したが、きれいで使いやすかった。ただし、自宅からは坂を上るため、時々利用 ・ 小さな子ども向けの遊具があり、砂場もきれい ・ ベンチの上には「すだれ」がかけられ、日陰が作られている ・ ごみ箱がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特に感じられないが、注意書きの看板がいくつもあった ・ 砂が猫等で汚れている 	ラジオ体操	子ども高齢者	30～50名参加	
					ゲートボール	高齢者	週1回。約20名参加	
					高齢者の体操	高齢者	鷲ヶ峯地域包括支援センターがかかわり、テープにあわせて体操をしている。参加者約20名	
					盆踊り	自治会内全体	500～600名(内、子ども300～400名)参加	
15	有馬ふるさと公園	有 馬 8-26-4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもが小さいころ、自主保育のイベントなどに参加した。 ・ 自然が多くセミを見つけたり公園内を駆け回り、子どもは楽しそう 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 木が生い茂り防犯面で問題がある 	プレイパーク	乳幼児	毎日ではない	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防犯面で問題はあるが、この公園で遊ぶ子どもたちのキラキラした目を見ると整備された公園だけではなく、このような公園は必要だと思います。
16	みなみだいら公園	南 平 台 5-7	<ul style="list-style-type: none"> ・ テニスコートがある(学生などお金のない世代にはありがたい) 					<ul style="list-style-type: none"> ・ 学生にも使いやすい公園ということでは特徴がある。
17	南平台なかよし公園	南 平 台 15-21	<ul style="list-style-type: none"> ・ 比較的新しい公園のため、遊具下にはマットが敷いてあり、子どもを安心して遊ばせることができる ・ 団地の中心地にあり、時間帯は違うものの、さまざまな年代が利用している 		体操	高齢者	鷲ヶ峯地域包括支援センターがかかわり、テープにあわせて体操をしている。参加者約20名	
18	神木公園	神木1-4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 好天気の時12時前後は、乳母車の親子連れ10～15組がランチタイムを楽しんでいる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 犬の散歩時に犬が花壇に入って荒らしたり糞をしても放置している 	神木ふれあい祭り	幼児から高齢者まで 神木12丁目、宮崎6丁目	落ち葉拾いと焼芋、売店(自治会員による) 絵画写真展手芸花の苗(シニア会員) 野菜即売会(地元農家) フリーマーケット、餅つき大会 アルコール類は無し	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎月第4土曜日に管理運営協議会員とシニア会員による公園清掃および花壇の手入れ ・ 6月、9月、11月に、自治会、運営協議会員合同による公園清掃 ・ 高木は地上5mまで枝木剪定、低木は地上50cm以上は剪定
					ラジオ体操会	幼稚園児、小学生 神木12丁目	7月夏休み開始の1週間、朝6時30分から行う。7日間皆勤者には商品を授与。	
19	児童公園(高山団地)	平 2-23-8	<ul style="list-style-type: none"> ・ 遊具が新調された ・ 公園全体がアパートに面しているため、防犯上とても安心 ・ 子どもが直接車道へ飛び出す心配がない 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 砂場が機能していない。地面と変わらないくらい固い ・ ベンチがなぜか石(それもざらざらした表面)。長持ちするし、管理しなくていいからか? 				<ul style="list-style-type: none"> ・ なぜここだけ遊具が新調されたのか? この広さで滑り台が2つもある。 ・ 風久保公園はベンチの修理すらしてもらえない。

身近な公園の良い点・悪い点一覧表

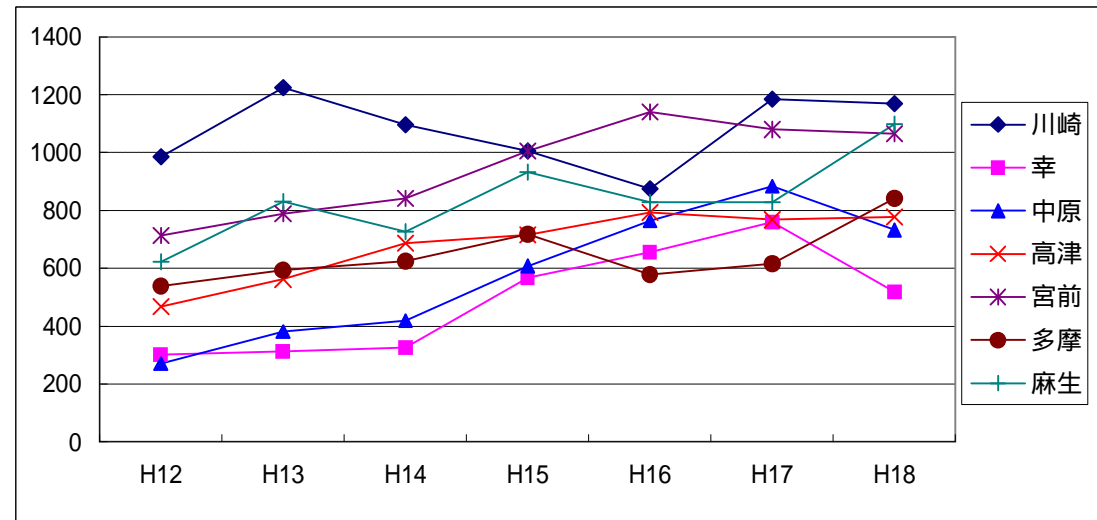
No.	名称	所在地	良い点	悪い点	事業・イベント			その他
					名称	対象者	内容	
20	平公園	平 2-14-1	<ul style="list-style-type: none"> 夏は木陰がたくさんで涼しい 雨が降れば、すぐ正面のこ文に移動できるので便利 3層式になっていて、走り回るのにも十分 斜面地や階段など、子どもたちの恰好の遊び場になっている 正面の保育園の園児も遊びに来ることがあり、一緒に遊べる 	<ul style="list-style-type: none"> 近所に危険人物がいて、しばしば出没する。 私自身も、子どもが作った泥団子を子どもたちの目の前で蹴飛ばし踏みつけられ、さらに怒鳴られるという被害にあった 幼稚園のバス停にも文句をつけて回り、基本的には女性と子どもにしか危害を与えない 				<ul style="list-style-type: none"> 事件の際に怯えて泣き出した息子たちは、あまりこの公園に行きたがらない。 機能的にはとてもよい公園なのに残念。 水道が無いため、手洗い用の水をペットボトルに入れ持参している。
21	平4丁目公園	平4-17	<ul style="list-style-type: none"> 広々としていて、時間を問わず利用者が多い 公園外の広範囲から公園内(二層になっている公園の一層部分)がよく見渡せる 川沿いにある公園横通りは、散歩している年配の方など人の通りも多い 	<ul style="list-style-type: none"> 砂場が無く、皆、グラウンドの砂利を集めて遊んでいるので、小さくてもよいのであるとうれしい。 夕方になると大人が小学生数人を引き連れて野球を教えたり、小学生がサッカーをしていたりするのだが、その都に玉が幼児達の方へ飛んでくる。なので、利用者はほとんど午前中に集中するようにしている。 	夏祭り			<ul style="list-style-type: none"> せっかく遊具スペースとグラウンドスペースが分かれているのだから、ネットなどの壁があれば安全でうれしい。
23	平寺山公園	平 1-23-5	<ul style="list-style-type: none"> (一度しか利用していない) 	<ul style="list-style-type: none"> この公園で遊ばせるには勇気がいる 利用者を見たことがない 普段でも雑草だらけで、夏場は1m以上の高さまで草が生い茂り、立ち入れない 公園入り口は通りから10m以上の路地奥にあり、ほとんど人目につかない 敷地となりが山というか、真っ暗な雑木林で怖い 遊具が雑草に埋もれている。たとえ草刈をしても、環境的に子どもを遊ばせるのは不安。 			  <p>遊具周辺の雑草</p>	<ul style="list-style-type: none"> 通りから公園までの路地はフェンスで囲まれており、いざという時荷は逃げ場がない。かといって、フェンスを取り除けば、隣マンションの駐車場敷地との区別がつかなくなり、居住者から苦情も出るだろう
22	平風久保公園	平 1-11-30	<ul style="list-style-type: none"> 息子(5歳)と遊んでくれる小学生が増えた 公園を取り巻く家がほとんど知人友人宅なので安心感がある これまでに、この公園での不審者情報は得ていない 	<ul style="list-style-type: none"> 犬のフンが掃除をしても掃除をしても減らない ベンチがなぜ石(それもごつごつした素材)なのかわからない。使えない 公園管理事務所に電話をしても、対応に時間がかかる。が、年度末にフェンスの取り壊しをお願いしたときだけはなぜか素早かった。 			 <p>石のベンチ</p>  <p>中途半端に修繕されたベンチ。隙間が大きく、ボルトの穴が残る</p>  <p>犬のフンを隠して帰るマナーの悪い利用者が多いので、看板をお願いしたら、3ヶ月ほどで設置された</p>	<ul style="list-style-type: none"> 一番よく利用している公園 ブランコなどは、宝くじからの寄贈

● 公園・緑地等位置図



[出典] 環境局資料(平成20年6月現在)

【公園緑地・街路樹等に関する苦情の推移】



	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18
川崎	985	1,224	1,097	1,006	875	1,185	1,168
幸	301	312	326	567	656	759	518
中原	271	382	419	608	764	883	732
高津	468	562	686	716	793	768	777
宮前	714	789	841	1,004	1,141	1,079	1,065
多摩	538	593	624	717	578	615	841
麻生	622	830	727	933	829	829	1,098
全市	3,899	4,692	4,720	5,551	5,636	6,118	6,199

【公園緑地愛護会と公園緑地管理運営協議会の設置状況】

平成19年3月31日現在
(人口はH19.4.1現在)

	人口	公園数(A)	愛護会数(B)	協議会の数(C)	合計(D=B+C)	設置率(D/A)
川崎区	208,932	152	63	57	120	78.9%
幸区	145,082	94	43	38	81	86.2%
中原区	217,135	106	41	44	85	80.2%
高津区	208,467	140	68	16	84	60.0%
宮前区	209,789	190	83	43	126	66.3%
多摩区	205,929	151	69	18	87	57.6%
麻生区	159,579	284	111	31	142	50.0%
合計	1,354,913	1,117	478	247	725	64.9%

【平成19年度の地域における公園の利用状況など(宮前区内)】

<公園内行為許可>

内容	件数	備考
地域等のイベント	32	バザー、映画会、防犯パトロール集会、移動動物園、地域交流会
祭り	29	夏祭り、盆踊り大会、こどもまつり、こども文化センター祭り
保育園・幼稚園等の行事	18	移動動物園、盆踊り、運動会、バザー
防災訓練	15	町会、マンション、こども文化センター等の防災訓練
その他	13	テレビ撮影等
合計	107	

<公園緑地管理運営協議会 利用調整報告>

内容	件数	備考
地域等のイベント	6	ゲートボール等の大会、ドッジボール大会、餅つき大会
祭り	14	祭り、盆踊り大会
防災訓練	4	防災訓練、炊き出し訓練など
その他	6	ラジオ体操、太極拳など
合計	30	

【平成19年度の公園緑地・街路樹等に関する苦情等の状況(西部公園事務所管内)】

内容	高津区	宮前区	合計
公園緑地	692	976	1,668
樹木剪定	109	132	241
落葉	2	1	3
草刈、除草等	48	77	125
施設補修	110	127	237
遊具補修等	64	84	148
電気施設	32	45	77
トイレ	13	16	29
水道	28	60	88
ゴミ問題	47	71	118
害虫問題	23	50	73
騒音問題	0	0	0
ホームレス問題	7	7	14
ペット問題	6	17	23
駐車場	0	0	0
カラスの駆除	28	23	51
その他	175	266	441
街路樹	78	226	304
剪定	41	153	194
草刈、除草	11	7	18
落葉	0	1	1
害虫問題	6	12	18
カラスの駆除	5	11	16
ゴミ問題	0	0	0
その他	15	42	57
利用マナーについて	0	0	0
職員の対応について	0	0	0
その他	0	0	0
合計	770	1,202	1,972

集計対象は電話、来訪、市長への手紙及び文書によるものとする。

宮前区区民会議 宮前区の宝さがし～ときめき再発見～部会 検討経過

区民会議 全体会	平成20年 5月23日	文化・観光、緑、産業、まちづくりパワーなど様々な課題を包含する 宮前区らしさ（＝宮前区の顔）を審議テーマに選定
-------------	----------------	--

第1回部会 平成20年 6月23日 部会名称の決定
具体的な審議テーマについて

■部会名称は「宮前区の宝さがし部会～ときめき再発見～部会」に決定

- ・部会名称決定に先立って行われた、フリートーキングで出された「再発見」「ときめき」「宝物」「地域」などのキーワードをもとに、協議の結果「宮前区の宝さがし部会～ときめき再発見～」を部会名称として決定した。

■具体的な審議テーマについて

- ・各委員の考える或いは知っている宮前区の「顔」や「宝」についてフリートーキングを実施
⇒出された意見は、次の項目に分類
- ①なぜ「顔」や「宝さがし」が必要なのか？
 - ②なぜ宮前区には「顔」といえるようなものがないのか？
 - ③どうなれば、それが宮前区の「顔」「宝物」と言えるか？
 - ④どんなものが宮前区の「顔」や「宝物」となりうるか？
 - ⑤課題解決策提案の上で鍵になりそうなこと
 - ⑥参考になりそうな事例や他地域の話

【配布資料】

- ・宮前区の『顔』 検討対象絞込みのためのメモ
- ・宮前区の『顔』づくりに関する委員意見・提案
- ・宮前区観光資源一覧

第2回部会 平成20年 7月15日 今後の審議の進め方について
宮前区の宝をさがす目的について
宮前区のイメージについて

■今後の審議のスケジュール・進め方

- ・結果的に公園・地域づくり部会と同様の進め方となった
(任期2年間を通して審議していく)

■宮前区の宝をさがす目的

- ・宮前区の宝を探すこと目的（宝や顔があることによるメリット、宝や顔を持つことで最終的に目指すもの）について意見交換
⇒具体的な結論には至らなかったが、次のようなキーワードが出された
共有意識・コミュニケーション・まちへの愛着・より良いまちにしていこうという意欲・目に見える宝物と見えない宝物（風土）etc…など

【配布資料】

- ・宮前区の宝さがし部会～ときめき再発見～の審議の進め方について
- ・議論ペーパー（白紙）
- ・宮前区の宝をさがす目的を確認するための議論用メモ
- ・現在の宮前区の成り立ちと開発等との関係について
- ・ホームページや雑誌等の紹介にみる「宮前区」
- ・川崎市政及び区政に関する市民1万人アンケート（抜粋）
- ・宮前区の地域資源一覧

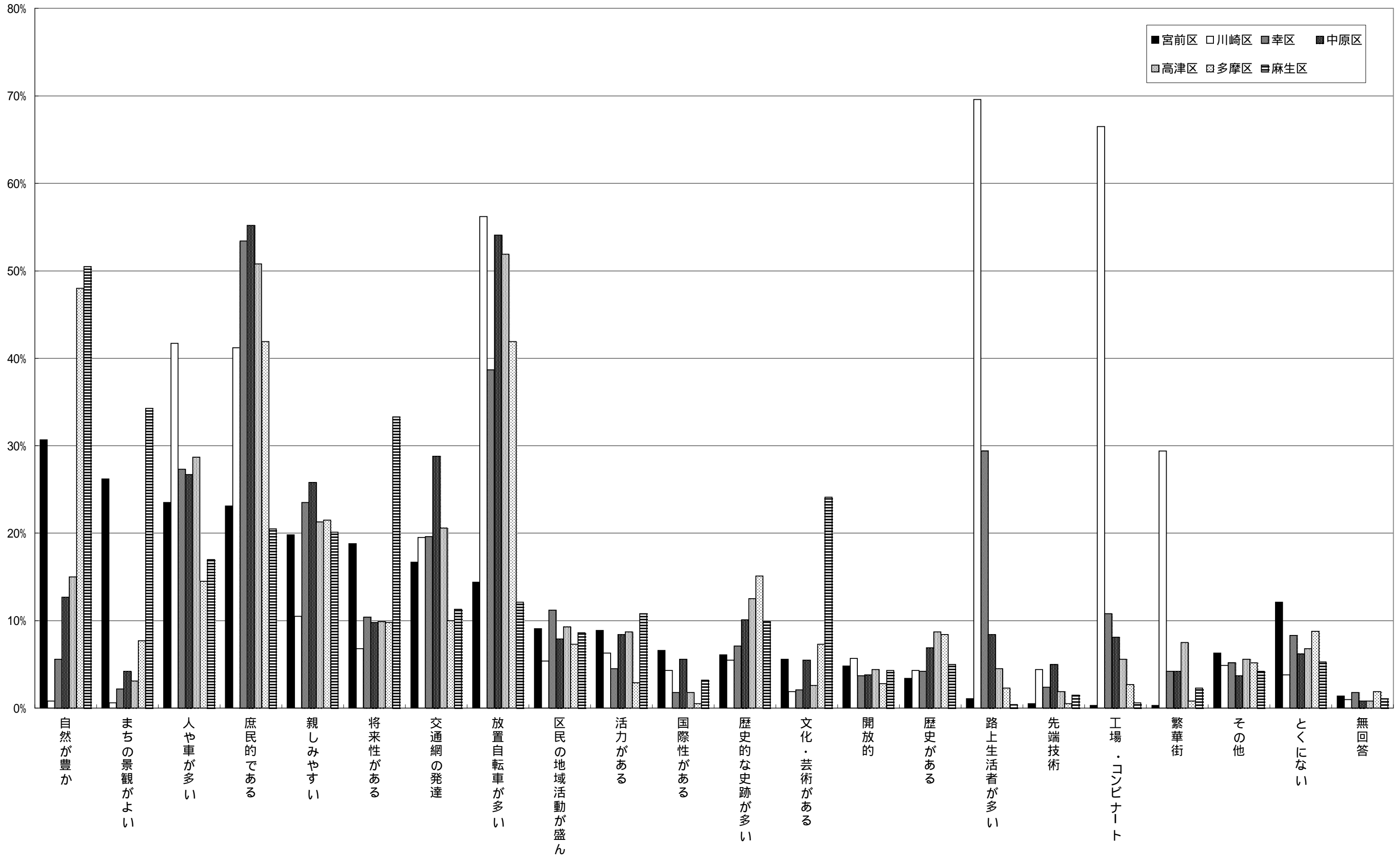
■内外から見た宮前区のイメージ ～「宝」をさがすための1つの手がかりとして～

- ・現在の宮前区がどういった経緯でまちづくりが行われてきたのか、「多摩田園都市構想」の概略を共有
⇒特に宮前地区については、特定の会社の戦略のもと「良好な住宅地」という一定のイメージのまちづくりが行われてきた
- ・雑誌やホームページでの宮前区の紹介のされ方をみると、「住環境がよい」という評価がある反面、これといった目玉施設がないため紹介も少ないという現状
- ・宮前区に住んでいる人が宮前区をどのようにイメージしているかという調査では、「自然が豊か」という回答が最も多かったが、それでも麻生区や多摩区に比べれば少ない割合であった。また、「特にない」と回答した割合が7区の中で最も多かったのが特徴的（資料3-2参照）

⇒こうした宮前区のイメージ（実態と合っているかどうかは別として）も踏まえながら、今後の議論を進めていく（現在の審議段階：現状と課題の把握）

住んでいる区のイメージ

(宮前区のポイントが高い順)



宮前区地域資源一覧

	観光スポット類型	区分	内 容
1	緑関係	緑地・公園	生田緑地(かながわの公園50選、かながわの探鳥地50選、かながわ未来遺産100選)、菅生緑地、東高根森林公園(かながわの公園50選、かながわの景勝50選)、カップパーク鷺沼
		草花・樹	有馬つつじ公園、有馬梅林公園、野川梅の里、有馬椿の里、有馬植木の里(かながわのなちなみ100選)、馬絹の花桃(かわさきそだち)、等覚院のツツジ(かながわの花の名所100選)、野川のコスモス畑、東高根のシラカシ林(かながわの美林50選)、馬絹の小菊(かわさきそだち)
		保全緑地・樹木	南野川ふれあいの森(南野川特別緑地保全地区)、野川ふれあいの森(野川特別緑地保全地区)、野川十三坊台特別緑地保全地区、平中学校の保存樹林、
		まちの樹	影向寺の乳イチョウ(かながわの名木100選)、影向寺(イチョウ、サルスベリ:川崎まちの樹50選)、泉福寺(イチョウ、サルスベリ)、小台(イヌツゲ、イロハカエデ:川崎まちの樹50選)、菅生宮(イトヒバ:川崎まちの樹50選)、白幡八幡大神(クスノキ:川崎まちの樹50選)、平(ケヤキ:川崎まちの樹50選)、有馬(ケヤキ:川崎まちの樹50選)、下有馬不動尊(ヤブツバキ:川崎まちの樹50選) 神木本町平瀬川沿い(ムクノキ:川崎まちの樹50選)
2	河川・水路	河川・水路	平瀬川、有馬川、矢上川
3	遺跡・文化財	古墳	馬絹古墳(県指定史跡)、川崎考古学研究所
		遺跡	権現台遺跡、東高根遺跡(県指定史跡:東高根森林公園内)、潮見台遺跡、十三菩提遺跡、野川神明社境内遺跡
		史跡	野川神社境内史跡、疱瘡神、市内最初の向ヶ丘図書館
		建造物	影向寺薬師堂(県重要文化財)
		彫刻	木造 薬師如来両脇侍像(重要文化財:影向寺)、木造 二天立像(市文化財:影向寺)、木造 十二神将立像(市文化財:影向寺)、木造 聖徳太子立像(市重要歴史記念物:影向寺)、木造 薬師如来坐像(市重要歴史記念物:等覚院)
		絵画	板面着色絵馬 泉福寺薬師会図(市重要歴史記念物:泉福寺)、板面着色絵馬 泉福寺境内相撲図(市重要歴史記念物:泉福寺)
		書籍・古文書	後北条氏の虎の印判状 永禄元年五月十一日付、甲子三月二十三日付、天正十五年九月二十日付(市重要歴史記念物:個人所有)
		有形民俗	獅子頭(市重要郷土資料:初山獅子舞保存会)
天然記念物	東高根のシラカシ林(県指定天然記念物)		
4	石造物	地蔵尊・石物	西蔵寺の庚申塔
		石碑	
		現代彫刻	
5	建築物		影向寺薬師堂(かながわの建築物100選)
6	文化施設		
7	アミューズメント施設		電車とバスの博物館、サギヌマポウル、フロントウン鷺沼
8	民族芸能・行事		初山の獅子舞(県無形民俗文化財)、平囃子、野川囃子、有馬囃子、有馬大正踊り八木節、土橋万作踊り、禰宜舞(市重要習俗技会)、神木獅子舞、御嶽講、三峯講
9	祝い歌・音頭		宮前音頭
10	神社・仏閣		影向寺、西蔵寺、秋月院、正福寺、長安寺、慈照寺、浄照寺、泉福寺、東泉寺、長善寺、等覚院、長尾寺、如意院、本遠寺、千手堂、福王寺、野川神明社、和田八幡宮、有馬神明神社、有馬不動堂、馬絹神社、八幡神社、八雲神社(天王社)、土橋神社、神木天満宮、白幡八幡大神、菅生神社、犬蔵天神社
11	街並み・道		長坂、島坂、庚申坂、八幡坂、白井坂、王禅寺道
12	果樹園・特産品		宮前メロン(かわさきそだち)、宮前のブロッコリー(かわさきそだち)、宮前のトマト(かわさきそだち)、宮前のダイコン(かわさきそだち)、お好み甘納豆(かわさき名産品)、カップブディング(かわさき名産品)、神木とろ〜りプリン(かわさき名産品)、ハーフピネガー(かわさき名産品)、唐辛子エッセンス(かわさき名産品)、ふる舞いそば(かわさき名産品)、わがままイチゴ、稗原の産みたて卵
13	村名・地名等		
14	その他		有馬療養温泉旅館、天然温泉ゆけむりの庄

第2期宮前区区民会議 今後のスケジュール(案)

年度		平成 20 年度												平成 21 年度													
月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
全体会		第1回区民会議		第2回区民会議				第3回区民会議				第4回区民会議				第1回区民会議		第2回区民会議				第3回区民会議				第4回区民会議	
		専門部会	企画			●		●	●				●			●				●				●			
			公園・地域			●	●		●	●		●	●		●	●		●	●		●	●		●			
			宝さがし			●	●		●	●		●	●		●	●		●	●		●	●		●			
その他												フォーラム											フォーラム				
												解決策がまとまり次第、区長へ報告												第2期総括			

平成19年度・平成20年度 宮前区協働推進事業一覧

*:追加事業 :変更事業

(単位:円)

19年度			
NO	事業名	予算額	決算見込額
1 区民との協働によるまちづくりをめざして			
1	まちづくり推進事業	7,592,000	6,509,774
2	東名川崎IC周辺整備推進に関する事業	3,316,000	3,285,768
3	区制25周年 浄水場通り壁画作成事業	1,119,000	1,119,000
4	カッパーク鷺沼地域交流・活性化促進事業	2,185,000	2,084,155
5	地域課題の解決に向けた事業提案委託制度	1,184,000	1,079,714
6	区制25周年 みやまえ区民フォーラム	1,541,000	1,528,570
7	鷺沼駅前ロータリーにおけるイベント等支援事業 *	92,000	91,770
8	シニアパワー活用支援事業 *	1,440,000	1,323,296
2 地域で支えあい安心して暮らせるまちづくりをめざして			
9	歯つらつお口のコミュニティケアプラン事業	2,050,000	1,949,890
10	子育て支援事業	618,000	590,440
11	親子の集いと居場所づくり推進事業	1,640,000	1,531,093
12	子ども支援ネットワーク事業	285,000	229,068
13	親と子の子育て応援セミナー事業	338,000	300,158
14	安全安心まちづくり推進事業	1,484,000	1,328,079
15	安全安心まちづくり「壁画」パネル展示事業 *	347,000	346,500
16	第26回宮前区民祭 区誕生25周年企画 *	605,000	565,275
17	区内公立保育園の保育相談の看板設置 *	58,000	46,200
3 豊かな心とふれあいを育むまちづくりをめざして			
18	みやまえロビーコンサート	2,778,000	2,772,000
19	区制25周年 太鼓ミーティング	1,622,000	1,621,089
20	友好都市交流事業	608,000	237,666
21	みやまえスポーツふえすていばる	2,163,000	1,900,340
22	みやまえふれあいフェスタ	1,540,000	1,531,011
23	障害者交流推進事業(しあわせを呼ぶコンサート)	2,739,000	2,289,000
24	みやまえ新春コンサート	754,000	752,474
25	宮前区制25周年記念「橘樹から高津、そして宮前へ」小池汪写真展	634,000	497,311
4 区民への情報発信と情報の共有化をめざして			
26	宮前区ホームページリニューアル事業	3,465,000	3,461,745
27	宮前区役所事業概要発行事業	835,000	561,750
28	みやまえガイドマップ修正増刷事業	1,743,000	1,585,500
29	町内会ホームページ開設推進事業	215,000	64,400
30	保健福祉等情報提供事業	630,000	375,900
31	みやまえデータブック作成事業 *	1,554,000	1,096,200
5 便利で快適な区役所サービスの提供をめざして			
32	宮前区役所BGM配信事業	42,000	42,000
33	バリアフリー推進事業	5,842,000	5,837,183
34	窓口サービス等向上推進事業	461,000	378,400
35	窓口サービス等向上推進事業(ローカウンター) *	488,000	487,200
36	区民に使いやすい庁内改善事業	669,000	668,587

■:19年度終了事業

20年度	
事業名	予算額
まちづくり推進事業(まちづくり協議会運営経費、資金支援、区民フォーラム)	4,889,000
まちづくり支援事業(コンサル委託経費)	3,539,000
東名川崎IC周辺整備推進事業	833,000
カッパーク鷺沼地域交流・活性化促進事業	1,907,000
地域の課題解決に向けた事業提案制度	2,164,000
シニアライフ支援事業	1,796,000

子育て支援事業	563,000
子ども支援ネットワーク事業	285,000
親と子の子育て応援セミナー事業	542,000
安全安心まちづくり推進事業	5,875,000
子ども安全安心見守り推進事業	441,000

みやまえロビーコンサート	1,668,000
みやまえ太鼓ミーティング(10周年記念)	3,108,000
友好都市交流事業	618,000
みやまえスポーツふえすていばる	2,282,000
みやまえふれあいフェスタ	1,630,000
しあわせを呼ぶコンサート	2,738,000
みやまえ新春コンサート	848,000

宮前区役所事業概要発行事業	756,000
宮前区ガイドマップ修正増刷事業	998,000

宮前区役所BGM配信事業	42,000
バリアフリー推進事業	1,633,000
窓口サービス等向上推進事業	490,000

6 平成20年度新規事業

区境市境を越えた安全・安心まちづくり推進事業	1,715,000
防災意識普及啓発事業	2,000,000
高齢者健康づくり支援事業	103,000
地域スポーツ促進事業	94,000
地域の魅力発信事業	227,000
宮前区ガイドブック修正増刷事業	1,313,000
市民活動支援拠点ネットワーク事業	5,251,000

緊急対応費	2,491,000
管理運営費	2,161,000

合計	55,000,000
----	------------

担当課
地域振興課
地域振興課
地域振興課
地域振興課
企画課
企画課
地域振興課
地域振興課
企画課

地域保健福祉課
保健福祉サービス課
こども支援室
こども支援室
こども支援室
地域振興課
こども支援室
地域振興課
総務課 / 地域振興課
こども支援室

地域振興課
地域振興課
地域振興課
地域振興課
地域振興課
地域振興課
地域振興課
生涯学習支援課

企画課
企画課
地域振興課
地域振興課
地域保健福祉課
企画課

総務課
総務課
区民課
衛生課
向丘出張所

地域振興課
地域振興課
地域保健福祉課
企画課
地域振興課
地域振興課
地域振興課
地域振興課 / 向丘出張所

緊急対応費	-1,160,000	
管理運営費	1,484,000	1,351,687

合計	55,000,000	51,420,193
----	------------	------------

平成19年度 宮前区協働推進事業評価一覧表

NO	事業名	目的及び内容	開始年度	予算額(円)	追加予算額(円)	決算見込額(円)	不用額(円)	事業評価総合評価	次年度以降の事業計画	具体的な展開方針 (終了する場合は終了理由)	優先度	担当課
1 区民との協働によるまちづくりをめざして												
1	まちづくり推進事業	区民と行政との協働による魅力あるまちづくり推進のため、区民、地域団体、企業の代表、行政を構成員とした、まちづくり協議会を設置し「宮前区区づくりプラン」の推進及び実現を目指す。平成19年度の理事会開催数は12回で、参加人数は毎回15人(定数23人)程度。市民活動への支援事業、市民団体のネットワーク化などの中間支援機能について議論された。	平成9年度	7,592,000	0	6,509,774	1,082,226	中間支援機能を担う組織として「つなぐ、むすぶ、ひろげる。」といった活動に取り組むことが出来た。今後も目的に沿った活動を推進していく。	見直し・改善の上継続	平成19年度は中間支援機能を担う活動の最初の一步を踏み出した。今後は資金支援の継続、ネットワーク化の促進を図り、市民団体への情報提供を強化するなど「つなぐ、むすぶ、ひろげる。」といった取り組みを推進していく。	A	地域振興課
2	東名川崎IC周辺整備推進に関する事業	川崎市北部の玄関口としての東名川崎インターチェンジ周辺の景観を整備することにより、川崎のイメージアップを図る。また、町内会の役員や地域住民と協議会委員で構成された景観部会で、魅力的なまちなみの形成に向けて、地域性を活かした愛着ある空間を目指し、「デザイン提案集」を作成する。なお、当初予定していた橋脚へのラッピングアートは、中日本高速道路(株)が橋脚への耐震補強工事を実施したため、景観整備として花壇整備へ変更して実施。協議会2回 花壇づくり2回 景観部会6回 緑部会2回	平成16年度	3,316,000	0	3,285,768	30,232	今後のまちづくりの指針となる「デザイン提案集」を完成するとともに、地域住民で組織する団体を設立し地域で花壇の管理を行うしくみの土台づくりもできた。また、景観整備としてインターチェンジ周辺の花壇整備を実施し、周辺のイメージアップを図ることができた。	見直し・改善の上継続	平成23年度に完成予定の藤子・F・不二雄ミュージアムの整備に合わせた東名川崎ICから生田緑地等までのサイン整備は区課題として今後検討していき、花壇などの整備は引き続き地域住民で組織する団体と協働で整備を行っていく。	B	地域振興課
3	区制25周年 浄水場通り壁画作成事業	平成6年に、市制70周年記念事業として、浄水場通りの壁面に宮前区子ども会連合会の子ども達による壁画を作成したが、作成から13年が経過し、壁面の劣化・損傷が激しくなってきたことから、経費等を勘案し、コーティング等を施して壁画壁面を補修・維持するのではなく、平成19年度の宮前区誕生25周年を期に新たに作成する。平成19年8月実施	平成19年度	939,000	180,000	1,119,000	0	今回完成した壁画も将来的に劣化の問題が生じると考えられるが、子ども達が主体となり、大人達がサポートして宮前区のみならずまちづくりを推進する土壌を作り上げることができた。	終了する	25周年記念事業のため単年度で終了		地域振興課
4	カッパーク鷺沼地域交流・活性化促進事業	平成18年4月に新しくオープンした「カッパーク鷺沼」を、区のシンボルゾーンとして子どもから大人まで、様々な世代、立場の人が交流できるような場所に、また、この場所を核に地域コミュニティの振興やまちの活性化を図れるように、小学校、地元商店街、町内会等と協働してイベントを開催する。 開催日：平成19年8月4日(土) 場所：カッパーク鷺沼 来場者数：3,500人	平成18年度	2,185,000	0	2,084,155	100,845	カッパーク鷺沼がオープンして3年目であることから引き続き区のシンボルゾーンとして周知していくとともに、小学校関係者や周辺地域の主体的な取組による事業展開となるよう段階的な取組が必要と考える。	終了を見越して継続する	「カッパーク鷺沼」を区のシンボルゾーンとして定着させ、同地区を中心としたエリアで、多様な交流を促し、地域の活性化やコミュニティ形成に寄与できる催しを実施する。将来的には、地域主体で開催されるよう、地域の参加を積極的に促していく。	B	企画課
5	地域課題の解決に向けた事業提案委託制度	地域の課題を区民自らが発見し課題解決を図ることをめざし、広く事業提案を募集・選考し、選考された事業を市民活動団体に委託する。平成19年度実施事業：映像コンクール、緑の回廊マップづくり、落書き消し	平成18年度	1,184,000	0	1,079,714	104,286	各事業の成果があったが、実施団体と区役所との役割分担が明確でない部分があるため、区役所への要望が多くなりがちであることから、制度を安定して継続させるためには、より一層各団体を自立させていくことが求められる。	見直し・改善の上継続	20年度は、事業協力+負担金という形で事業実施する。また、同一事業・団体について何年間継続を認めるかという課題があるため、その見直しを行っていく。	B	企画課
6	区制25周年 みやまえ区民フォーラム	地域活動団体とテーマ別に社会貢献活動をしている団体が協力し、それぞれの持つノウハウや課題を区民へ発信することで、区民が地域での活動を始めるきっかけ作りに活用してもらおうとともに、市民活動の活性化を図ることを目的としたイベントの開催。開催日：平成20年3月1日・2日 場所：市立土橋小学校 来場者数：1,500人 第6回市民自治創造・かわさきフォーラム(以下「自治フォーラム」)と合同で開催	平成18年度	1,541,000	0	1,528,570	12,430	自治フォーラムと合同で開催したことにより大きな相乗効果があった点について評価できる。しかしながら、同じ目的を達成する手法として宮前区まちづくり協議会との協働があり、今後は同会との協議・調整により合理化を図るべきである。	終了する	まちづくり推進事業の一環として実施予定のため終了 今後は、市民活動参加へのきっかけづくりや市民活動の活性化というイベントの開催目的を鑑みて、本イベントの実施主体でもあり市民活動への支援、市民団体のネットワーク化などの中間支援を目指す宮前区まちづくり協議会との協働によるまちづくり推進事業の一環として、実施形態を含めて協議、検討する。		地域振興課
7	鷺沼駅前ロータリーにおけるイベント等支援事業	鷺沼駅前には多くの区民が利用する場所であり、ロータリーでは東急電鉄から区が借り受けて区民との協働により植栽やイルミネーションを行っている。ロータリーで効果的にイベントを行う環境を整備することで、区内外からの訪問者への区の魅力発信に寄与する。ロータリーの電源設備を最大30アンペアまで使用できるよう、プレーカー等を交換し、駅前市民団体が公益的な活動を行う場合や区のイベント等を行う場合に、東急電鉄との協議の上、開催の支援を行う。	平成19年度	0	92,000	91,770	230	イルミネーションについては、区と市民活動団体との協働で効率的に事業を実施する環境を整えることができた。また、今回改修した電源設備については、多くの人が利用する場所であることから、今後は区での各種啓発イベント等に利用していく。	終了する	電源設備の整備が完了したため終了 予算措置のある事業としては終了であるが、イルミネーション事業は市民活動団体と協議しながら継続して開催していく。また電源設備については今後様々な事業等で積極的な活用を図る。		地域振興課
8	シニアパワー活用支援事業	団塊世代の活力を地域で活かし、また、シニア世代の今後の生きがい作りをサポートするために、相談員によるよる相談窓口の充実や講演会、コーディネートを学ぶ講座を開催する。「よるよるシニア本舗相談窓口」開設回数：51回(臨時開設含む) 相談件数56件。「コーディネートを学ぶ講座」(連続3回講座)参加者：13人(全日参加者10人)「大人の文化祭inみやまえ」(開催日：平成20年2月11日(祝)市民館 来場者数：約400人)	平成18年度	74,000	1,366,000	1,323,296	116,704	シニア世代の自己実現を図りつつ、その能力が地域社会で発揮され、地域課題の解決に繋がっていくには、当面、改善を係りつつ、継続していくことが必要である。	見直し・改善の上継続	シニア世代の自己実現を支援しつつ、同時に地域社会の活性化・地域課題の解決を図っていくためには、各事業の実施に際して内容を検討しつつ、より効果的な情報発信等ができるよう工夫していく必要がある。	A	企画課

優先度：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

平成19年度 宮前区協働推進事業評価一覧表

NO	事業名	目的及び内容	開始年度	予算額(円)	追加予算額(円)	決算見込額(円)	不用額(円)	事業評価総合評価	次年度以降の事業計画	具体的な展開方針(終了する場合は終了理由)	優先度	担当課
2 地域で支えあい安心して暮らせるまちづくりをめざして												
9	歯つらつお口のコミュニケーションプラン事業	区民が、自身の口腔の健康を正確に認識し、口腔の健康の保持・増進に強い関心を持つことにより、う蝕・歯周病等の口腔疾患の予防・早期発見に資することを目的とする。歯の健康手帳の作成(発行部数 5000冊 発行場所:平成19年度就学時健康診断時、宮前区役所保健福祉センターでの健康教育、宮前区役所での講演会、宮前区歯科医師会での健康教育)	平成17年度	2,050,000	0	1,949,890	100,110	「歯の健康手帳」活用により、自分自身の口腔の健康を正確に認識し、口腔の健康の保持・増進に強い関心を持つようになり、区民の口腔の健康に対する関心が非常に高まった。	終了する	当初事業計画の通り、3年を経過し概ね口腔の健康保持増進に関する認知度が高まったため終了		地域保健福祉課
10	子育て支援事業	広く区民に対し、子育て情報を提供する。育て支援関係者の連携を強化し、安心して子育てできる地域づくりを進める。子育て情報かわら版の発行、年2回、各20,000部(町内会・自治会への回覧等)子育て支援関係者連絡会(年6回偶数月)の参加により、情報交換、区内の支援体制の協議を行う。	平成16年度	404,000	214,000	590,440	27,560	子育て世帯が安心して子育てができるようバックアップができ、関係者、団体との連携が強化され相互理解が深まった。区民会議の報告に対する取り組みとして、子育て支援関係者との連携協働をさらに充実・強化するため、連絡会を見直し、運営方法、要綱を整備した。	見直し・改善の上継続	子育て情報かわら版の発行は、改正が見込まれる子育てガイド「とことこ」の補完とタイムリーな情報提供が目的のため、内容の検討が必要である。平成20年度は平成21年度に向けて内容を検討し、年2回発行する。	B	保健福祉サービス課
11	親子の集いと居場所づくり推進事業	子育ての不安・孤立感等を軽減し、地域との交流を持てるよう、赤ちゃん広場、子育てサロンなどの自由に参加できる広場・サロン等の充実を図る。子育て中の母親から、子育ての悩みや親子の集いと居場所についての状況、区の子育て支援事業に対する認知度・感想などを調査し、子育ての現状把握を行って今後の施策の課題を明らかにする。	平成19年度	1,486,000	154,000	1,531,093	108,907	「子育てまちづくり懇談会」の開催やアンケート調査の実施により、子育て支援を行っていくための現状把握と今後の課題等を明らかにすることができた。	終了する	子育てに関する現状把握などの実態調査が終了したので事業終了。今後は、調査結果を参考にして事業を展開していく		子ども支援室
12	子ども支援ネットワーク事業	宮前区子ども総合支援関係者懇談会を開催し、子どもに係る関係機関・団体等とのネットワーク強化を図る。また、虐待など要支援児童等の早期発見・支援に向けた連携・ネットワークを強化するため、専門のスーパーバイザーのもとに、事例検討会や研修会(講演会)を実施する。	平成19年度	285,000	0	229,068	55,932	区内の子どもに係る関係機関・団体等のネットワークの強化が図れた。	見直し・改善の上継続	ネットワークの強化は今後も必要であるが、事例検討会については、回数や内容等を検討しながら展開していく。	A	子ども支援室
13	親と子の子育て応援セミナー事業	宮前区内の在宅中の親子を対象として、「親の育児力」をつけるために、子育てに関する知識と技術を持つ公立保育園の人材を活用し、子育てに関する相談・親と子の学習の機会及び交流の場を提供する。	平成19年度	338,000	0	300,158	37,842	地域の中で、親の育児力向上を図ることができ、子育ての仲間づくりへと発展した。	見直し・改善の上継続	会場、対象者、講座内容等について、見直しながら充実させていく。	B	子ども支援室
14	安全・安心まちづくり推進事業	区民、地域団体、事業者、行政機関等の連携・協働により、防犯・防火・交通安全などの推進を図り、「宮前区安全・安心まちづくり推進協議会」を軸として、各種事業・施策の展開を図る。また、子ども安全・安心協議会は、区内の学校、保護者をはじめ、地域住民、事業者、関係団体、警察、行政機関が連携・協働し、子どもを犯罪から守り、登下校時等における地域の安全確保を目的として活動を行った。	平成18年度	1,484,000	0	1,328,079	155,921	安全・安心まちづくりは、日々の取り組みが非常に重要であり、宮前区内では、これまでの町内会・自治会の取り組みの成果もあり、最近は大きな街頭犯罪は目立っていない。	見直し・改善の上継続	引き続き啓蒙等犯罪防止の広報活動に努める。また、今後は防犯活動だけでなく、防災や交通安全活動も幅広く支援し、「安全安心」なまちづくりに努める。また、「子ども自ら、自分の身を守る」ことを目的とした取り組みも行っていく。	A	地域振興課 / 子ども支援室
15	安全・安心まちづくり「壁画」パネル展示事業	「第二梶ヶ谷架道橋」「東名1トンネル」及び浄水場通りにそれぞれ作り上げられた壁画は、地域、学校、企業と行政の協働で完成し、犯罪を防ぎ「安全安心なまち」を作り上げるといった願いへのシンボルであり、その成果を広く区民に広報し、更なる協働を推進するためにパネルを作成し、展示をおこなった。	平成19年度	0	347,000	346,500	500	現在は区役所4階に展示しているが、野川地区から離れた区民も壁画を見ることができるといった好評も得ている。	終了する	展示パネル作成をもって事業終了		地域振興課
16	第26回宮前区民祭区誕生25周年企画	宮前区誕生25周年を記念し、区民祭でイベントを実施し、地域に対する愛着を高めることが目的である。ミニ体力自慢コーナーは、区民祭で従来から行っている体力テストコーナーと川崎フロンターレ主催のキックターゲットコーナーを連携させ、区民の健康づくり意識を高め、みやまえフォトコンテスト作品展示会では区まちづくり協議会と宮前区観光協会を連携させ、区内の名所等を区民に紹介した。	平成19年度	0	605,000	565,275	39,725	恒例イベントとしての継続希望も多く、事業自体は成功といえる。区民祭自体は区民が作り上げるものであることから、今後は今回のイベントを参考に、区民自身が企画運営できる土壌を作り上げることが必要である。	終了する	25周年記念事業のため単年度で終了		総務課 / 地域振興課
17	区内公立保育園の保育相談の看板設置	公立保育園における地域からの保育相談を充実するため、各保育園(11園)で個々に設置している老朽化した看板を、保育士がデザインした看板に新しく設置し直し、保育園の存在と保育相談について区民に広くPRする。	平成19年度	0	58,000	46,200	11,800	明るい看板で、地域の人達に保育園の存在もPRできた。	終了する	保育相談看板設置完了のため終了		子ども支援室
3 豊かな心とふれあいを育むまちづくりをめざして												
18	みやまえロビーコンサート	来庁する区民にうろおいのある時間を過ごしてもらい、親しまれる区役所の実現をめざし毎月1回区役所2階ロビーでコンサートを開催する。来場者数は毎回200人前後、毎回レベルの高い奏者を迎え様々な音楽を提供している。	平成5年度	2,778,000	0	2,772,000	6,000	毎回多くの区民が来場し、定期開催のコンサートとして定着している。出演アーティスト、コンサートの内容共に質の高い、バラエティに富んだものとなり、区民に区役所をより身近に感じてもらい、うろおいのある時間を提供することができた。	見直し・改善の上継続	11月には区制25周年記念として開催し、多くの区民に良質なコンサートを提供できた。来場者数が増えているため、コンサートの形態や安全面等を検討・改善していく必要がある。	B	地域振興課

優先度：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

平成19年度 宮前区協働推進事業評価一覧表

NO	事業名	目的及び内容	開始年度	予算額(円)	追加予算額(円)	決算見込額(円)	不用額(円)	事業評価総合評価	次年度以降の事業計画	具体的な展開方針(終了する場合は終了理由)	優先度	担当課
19	区制25周年 太鼓ミーティング	太鼓を通して宮前区の文化伝統を再認識するとともに、演奏者・来場者相互の交流を深めるためのイベント。実行委員会が企画・運営を行っている。19年度は出演団体も実行委員として参加し、共にイベントを創り上げた。また区制25周年記念企画の演奏も実施した。開催日:8月25日、場所:第1部・宮前市民館ホール、第2部・市民広場、来場者数:約2000人	平成11年度	1,622,000	0	1,621,089	911	プログラム編成、会場の雰囲気作り共に趣向を凝らしており、情緒ある夏のイベントとして幅広い世代の区民に親しまれている。出演団体が企画段階から参加したことで、太鼓の担い手、それを支える区民や地域、観客が、より区内の伝統文化を共有・共感できるイベントとなった。	見直し・改善の上継続	実行委員会の熟度が高く、出演団体も参加したことで、自主的に様々な企画・運営を行える環境が整いつつある。出演団体同士のネットワークを広げ、地域との繋がりを深め、それぞれの役割の下、より主体的な運営ができるように方法を検討していく。	B	地域振興課
20	友好都市交流事業	平成8年度から「個性豊かな新しい都市生活文化を創造する区」の実現をめざすため、長野県佐久市との交流を開始。友好都市交流委員会:4回開催 市民間交流事業:2団体にバス借上げ料の一部を助成 その他:佐久市に関する広報・PR(区民祭、ふれあいフェスタでの物産展への招致など)	平成8年度	608,000	0	237,666	370,334	交流を開始してから、一定の成果を得られた。宮前区観光協会が発足したため、今後は交流の主体を観光協会に移し、より充実した交流を図っていく方法を検討していく必要がある。	終了を見越して継続する	市民が佐久の文化に触れるきっかけを提供することができ、委員会としての一定の役割を果たすことができた。今後は観光協会を主体に交流を行い、委員会としての活動は20年度で終了する。交流支援については事業を別立てすることも含め検討していく。	B	地域振興課
21	みやまえスポーツふえすていばる	スポーツ技術の向上、健康増進を目的として、区民に対してスポーツ参加意識の向上を図っている。内容としては女子バレーボール、ソフトボール大会などは、一定のチーム力を持ったグループが争う大会とし、新規参加を促すより、限られた参加チームによる大会内容のレベルアップを目的としている。歩こう会やディスカバーウォークなどは、区民同士のふれあいや、高齢者や若年層の健康増進を図ることなどが目的であり、広報を通じ、広く参加者を募っている。	平成5年度	1,894,000	269,000	1,900,340	262,660	スポーツ技術の向上や、区民の健康増進と区民交流を図ることができたが、今後もより多くの区民が参加できるような他のスポーツ種目について、区民要望も含め事業開催できるか、また、事業のPR方法についても実行委員会で検討していく。	見直し・改善の上継続	現在、事業目的は例年ほぼ達成されているが、更に区民のこの事業に対する認識を高めるため、幅広い世代・地域の区民の参加が出来るよう、スポーツ種目の検討を行うほか、市政だより等を利用して各事業のPRを行い、活力あるふれあいの場づくりや、区民の健康増進にさらに寄与できるよう事業を継続する。	B	地域振興課
22	みやまえふれあいフェスタ	「健康と福祉」をテーマに、区民が主体的に参加することで区民相互の連帯やコミュニティ活性化を図ることを目的に、区内の福祉団体や市民活動グループの発表・交流を内容とするイベントを開催する。「健康まつり」が廃止となり、イベントの目的、運営体制等の整理が必要であるが、それぞれ区民参加で発展してきた経緯などから、平成19年度は従来の体制を維持しつつ、新たな体制作りに向けた検討を同時に進めていく。開催日:平成19年5月20日(日)10時~15時 宮前区役所・宮前市民館・市民広場 来場者数:12,000人	平成7年度	1,540,000	0	1,531,011	8,989	多くの実行委員(区民)が主体的に参加し、イベントの企画・運営を行なっている。一方で、健康まつりが廃止されたこともあり、テーマに関する一貫性・専門性が低く、内容が散漫になる傾向があり、テーマの検討、実行委員の意識の共有化が課題である。	見直し・改善の上継続	健康まつりの参加団体を一部取り込む形での開催となったが、今後健康と福祉というテーマでの開催は困難である。区民間、市民活動団体間の交流の場としても意義のある事業であるため、今後は「ふれあい」や「コミュニティ」をテーマに開催していく。	B	地域振興課
23	障害者交流推進事業(しあわせを呼ぶコンサート)	音楽を通じて、障害者と健常者の相互理解と交流を深めながら、障害者の社会参加と自立支援を促進するため、障害者福祉施設・作業所に通う人たちによる合唱とゲストによるコンサートを開催する。今回から第一部の「第九」にリストを加え、第二部では来場者も一緒に歌える場面を設けた。開催日:9月7日(金)宮前市民館大ホールにて開催 入場者数:約700人。	平成12年度	2,739,000	0	2,289,000	450,000	来場者のアンケートでも障害者の一生懸命な姿に感動したとの声が多数あり、障害者と健常者が共にステージを作り上げていくことで、音楽を通じた障害者と健常者の相互交流を深める場として定着している。	見直し・改善の上継続	広く周知されるようになり、区民の間でも関心が高くなってきている。今後は障害者福祉施設・作業所連絡会との連携と協力を進め、相互理解の場としてより発展させる企画を検討していく必要がある。	A	地域振興課
24	みやまえ新春コンサート	実行委員会による運営の下、区内を中心に音楽活動をしている個人や団体の参加により、相互の交流と協力でコンサートを開催し、音楽を身近に感じてもらう芸術への意識の向上を図る。クラシックを主体とし、オーケストラとの共演、アンサンブルでの演奏などコラボレーションによる構成を特徴としている。開催日:平成20年1月13日、場所:宮前市民館ホール、来場者数:約850人	平成18年度	754,000	0	752,474	1,526	区民による手作りのコンサートとして、実行委員会が主体となって運営していく姿勢を保ちながら、スタッフのスキル、コンサートの質も上がってきており、来場者の期待に応えたコンサートを開催することができた。	見直し・改善の上継続	区民同士の交流の場とすることもできた。入場希望の応募が昨年以上にあり、抽選で入場者を決定。当日はほぼ満席となった。今後もより質の高いコンサートを目指し、将来的には有料化などの検討をしていく。	B	地域振興課
25	宮前区制25周年記念「橋樹から高津、そして宮前へ」小池汪写真展	区制25周年にあたり、平成18年度川崎市文化賞を受賞した小池汪氏の写真展を開催し、宮前区の歴史と現在を広く区民に紹介することにより、地域の理解を深める一助とした。4月27日~5月2日に宮前市民館内市民ギャラリーで写真展を開催し、54点の作品を展示した。その間、作者による展示解説のほか、展示に関連する専門家等によるギャラリートークを開催した。	平成19年度	634,000	0	497,311	136,689	宮前区制25周年を迎え、地域の変遷を写真や映像など多角的に捕らえることができ、区民の地域への理解が深まったことは評価に価する。	終了する	25周年記念事業のため単年度で終了		生涯学習支援課

4 区民への情報発信と情報の共有化をめざして

26	宮前区ホームページリニューアル事業	区ホームページは、機能的に古く、地域ポータルサイトの開設に伴い、データ連携が必要であるが、現在のHTMLでのみ作成されたページではできず、また、各課のページについては、担当者に一定のスキルが求められ職員の負担となっているなどの課題があったため、機能面や操作性の向上を図り、区民への速やかな情報発信に繋げる。	平成18年度	3,465,000	0	3,461,745	3,255	今回のリニューアルで従来に比べ、より情報を迅速に発信することができた。ITの活用は、区の広報広聴機能拡充のうえでも非常に重要であり、ホームページについては、今後も継続して充実していく必要がある。	終了する	システム構築完了のため終了		企画課
27	宮前区役所事業概要発行事業	区役所の事業は予算及び事業内容の全体像が区民にとっても、また職員にとってもわかりづらいため、各課の事業概要、予算などを一冊の冊子としてまとめ、区の施策をわかりやすく区民に周知する。発行部数:5000部(区民課窓口で転入者及び庁内等で区民への配布)	平成19年度	835,000	0	561,750	273,250	7区の中で初めての取組であり、区民に広く区役所の概要を知らせるという点で効果があった。	見直し・改善の上継続	20年度は、各課の事業内容をこれまで以上に詳しく載せた。今後は執行予算を載せる方向で検討を進めていく。	B	企画課

優先度:A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

平成19年度 宮前区協働推進事業評価一覧表

NO	事業名	目的及び内容	開始年度	予算額 (円)	追加予算 額(円)	決算見込 額(円)	不用額 (円)	事業評価 総合評価	次年度以降 の事業計画	具体的な展開方針 (終了する場合は終了理由)	優先度	担当課
28	みやまえガイドマップ修正増刷事業	区役所窓口等で配布するガイドマップの修正及び増刷。部数 10,000部(追加増刷 5,000部) 配布時期 6月(追加増刷3月) 地図情報、施設情報等のデータ修正	平成19年度	1,113,000	630,000	1,585,500	157,500	転入者数以外の配布など、効果的に活用することができたが、それらも視野に入れて、印刷部数の精査を慎重に行うべきである。	見直し・改善の上継続	在庫を把握しながら原則年1回の修正増刷を行う。また5年に1回の大幅リニューアルを検討する。次回増刷時からは、広告掲載を予定。	B	地域振興課
29	町内会ホームページ開設推進事業	宮前区各町内会・自治会等のホームページ開設の推進を図ることを目的とし、講習会等を開催することによって、基礎的なページ作成業務の理解を高め、自主的な更新作業ができるよう管理方法を公開までサポートする。	平成18年度	215,000	0	64,400	150,600	生活情報の発信源としてホームページを開設する必要性・重要性については、一定の理解を得ることができた。平成20年度からは、区町連事業として地域団体の費用負担へと移行するが、引き続き、整備・維持・管理に向けた取り組みを継続する。	終了する	平成20年度以降宮前区町内会・自治会連合会で実施予定のため終了 今後は、宮前区全町内・自治会連合会においてページ拡充及び維持・管理の効率化を見据えた事業展開を目指す。		地域振興課
30	保健福祉等情報提供事業	保健福祉センターが行っている保健・福祉サービスの情報や、区地域福祉計画に関する情報等を提供することにより、区における保健・福祉活動の向上推進を図る。平成20年3月発行。第2期計画の概要や第1期計画の成果、保健福祉センター各事業や地域生活支援センターの設立などについて掲載した。発行部数：2000部(区役所等の窓口・各種イベントにて配布)	平成16年度	630,000	0	375,900	254,100	地域の方々や団体のこれまでの活躍について写真などをまじえて紹介することができ、多様な主体による地域福祉活動を広報できた。また、地域保健・地域福祉の更なる推進のために、地域福祉計画第2期計画の広報に努めた。	終了する	今後は、協働推進事業以外で情報提供をしていくため終了		地域保健福祉課
31	みやまえデータブック作成事業	新実行計画内の区計画を補足するとともに、様々な事業を実施していく際に、最新の区内の状況等を把握する必要があるため、平成16年度に作成たみやまえデータブックを基本として、最新統計データ等を整理する。発行部数 1,000部(庁舎内等で配布)	平成19年度	0	1,554,000	1,096,200	457,800	地域の課題を把握する際や、事業計画を見直す際には客観的な状況把握が必要であるため、一定の時期ごとの更新を検討する必要がある。	終了する	3年に1度程度の改正のため終了		企画課

5 便利で快適な区役所サービスの提供をめざして

32	宮前区役所BGM配信事業	庁舎内にBGMを流すことにより、区役所を、身近で明るく、親しまれる場に変えていく。	平成14年度	42,000	0	42,000	0	BGMを流すことで、庁舎内が明るく、かつ身近で親しみやすいものとなった。また、区民と職員双方の心にゆとりを生み出すことができ、スムーズな対応等窓口サービスの向上につながり、事業目的の効果は得られている。	見直し・改善の上継続	配信内容の見直しを図りながら、事業の継続を行う。	B	総務課
33	バリアフリー推進事業	区役所南側の歩行者通路は、降雨時や降雪時に大変滑りやすく危険であり、過去にも来庁者が転倒し怪我をしたことがある。歩道のノンスリップタイルへの張替及びマンホールの段差解消により、区民が安全に安心して利用できる庁舎の整備を行う。	平成15年度	5,842,000	0	5,837,183	4,817	来庁者が安全に庁舎を利用できるために、今後もバリアフリー化を順次行っていく必要がある。	終了を見越して継続する	市民広場周辺など改善が必要な部分は残っているが、今後は、耐震補強などの推移を見ながら整備を行っていく。	B	総務課
34	窓口サービス等向上推進事業	繁忙期に区民課業務に詳しい人を臨時職員として採用し、各窓口の案内や届出書、交付申請書の記載方の説明を行い、来庁者に正確な記載と受付場所等の案内をすることにより、スピーディーな業務処理、待ち時間の短縮を図る。(期間：4月～5月・2月～3月 延べ人数：4人)(業務：窓口案内・申請書等の記載方法説明等)	平成17年度	461,000	0	378,400	82,600	事前に業務内容や手順についてより具体的なレクチャーを行う等、ソフト・ハード両面において改善を図ることで、新規業務が加わった中、さらなる窓口サービスの向上に対応することができた。	終了を見越して継続する	効果的な事業として、今後も窓口案内人の配置は継続していく必要があると考える。ただし、平成21年度以降の事業実施については、協働推進事業以外での実施を検討していく。	B	区民課
35	窓口サービス等向上推進事業(ローカウンター)	便利で快適な質の高い窓口サービスの提供を目的として、衛生課窓口の一部分をローカウンターに変更する。また、保健福祉サービス課において、ローカウンターを二つに分けてこども総合支援担当と共に使用し、効率的な窓口サービスを提供する。	平成19年度	0	488,000	487,200	800	スクリーンの設置を含めて機能的な設備を施したことにより窓口周辺の環境が改善され、イメージアップにつながった。また、執務環境の改善により効率的な職務遂行につながった。	終了する	庁内の整備が完了したため終了		衛生課
36	区民に使いやすい庁内改善事業	集会機能のみの設備だけではなく、作業機能としての設備を追加することでさらに利便性を向上させる。集会機能の一部(板の間)を作業機能に変更し、間仕切り壁の増設から独立したスペースとすることで支援コーナーとしては総合的に有効活用ができるようにし、地域のニーズに合った施設の活用につなげる。	平成19年度	669,000	0	668,587	413	ハード面は概ね整備が完了したが、引き続き、利用状況に応じた環境整備を進めていく。	終了する	市民活動支援拠点ネットワーク事業の一環で実施するため終了		向丘出張所

6 緊急対応費

緊急対応費	地域課題等の速やかな解決を目的とする。		4,797,000	-5,957,000		-1,160,000						
-------	---------------------	--	-----------	------------	--	------------	--	--	--	--	--	--

7 その他

37	管理運営経費	協働推進事業における事務経費		1,484,000		1,351,687	132,313	適正な維持・管理ができています				
----	--------	----------------	--	-----------	--	-----------	---------	-----------------	--	--	--	--

合計				55,000,000	0	51,420,193	3,579,807					
----	--	--	--	------------	---	------------	-----------	--	--	--	--	--

平成 2 0 年 度 川 崎 市 総 合 防 災 訓 練 概 要

(第 2 9 回 八 都 県 市 合 同 防 災 訓 練 川 崎 市 会 場)

平成20年度キャッチコピー

地域を結ぶ手と手で防災・減災

- ▶ 宮前区内全避難所の立上げを目指した訓練
- ▶ 災害時要援護者支援を取り入れた訓練
- ▶ 幅広い年齢層が参加できる訓練

中 央 会 場 訓 練

目 的

市民、行政及び防災関係機関等が地域や学校等において、自助・共助・公助の理念に立った実践的訓練を実施して連携を強化し、災害対応能力の向上を図る。

八都県市合同防災訓練会場への広域応援（緊急物資搬送）を相互に実施して、八都県市相互の連携を図る。

職員の災害対応能力の向上を図る。

訓練想定

首都地域直下を震源とするマグニチュード7の地震発生
宮前区内をはじめとする市内全域で、家屋の倒壊や火災により、多数の死傷者が出ている。

実施日時

平成 2 0 年 8 月 3 1 日 (日) 9:00~12:00

平成 2 0 年 9 月 1 日 (月) 9:00~11:00 遺体安置所開設訓練

実施場所

宮前区 全 域

訓練項目・会場

避難所開設訓練（区内各小中学校）
避難訓練 避難所開設 区本部連携訓練 等
防災関係機関等訓練（消防総合訓練場）
救出救助訓練 火災防ぎょ訓練 道路啓開訓練
区本部運用訓練 情報収集訓練 等
広域応援訓練（北部市場）
遺体安置所開設訓練（宮前スポーツセンター）
ほかに多摩区及び川崎区で実施
多摩区（登戸連絡管を使用して水の相互融通を実施）
川崎区（第3庁舎から八都県市への救援物資搬送）

個 別 訓 練

実施日時

8月30日から9月5日の適切な日に実施

実施場所

川崎市内全域（街角など適地において実施）

実施主体

各局・各区役所 自主防災組織 市立小中学校
等 幼稚園 その他各企業・事業所八 都 県 市
幹 事 都 市 会 場

幹事都市

神奈川県

実施日時

9月1日(月) 10:30~12:00

実施場所

横須賀市新港埠頭ほか

避難所開設訓練【会場：区内各小中学校】
8月31日実施

時間	訓練項目	実施者、実施・協力機関等	概要	
各避難所の訓練時間による 原則として9:00～12:00の間に実施	共通訓練		避難訓練、災害時要援護者の安否確認、避難支援等	
			鍵の開錠、避難所設置看板の掲出、避難所屋外同報無線機による広報等の訓練、学校放送設備による広報訓練等	
		宮前区	防災行政無線機による情報受伝達訓練等	
			学校施設の確認、災害時に利用できる保有設備・資機材、備蓄物資の確認等	
	各避難所毎に選択する訓練	初期消火訓練	宮前消防署 宮前消防団 宮前婦人消防隊	消火器、投てき水バック、バケツリレーによる初期消火訓練等
		応急救護訓練	日本赤十字社神奈川県支部 宮前区赤十字奉仕団 宮前消防署	三角巾、AED等を用いた応急救護訓練等
		応急給水訓練	水道局 (財)川崎市水道サービス公社	(生活用水)停電時の学校貯水の利用、災害用井戸の場所を確認 (飲料水)給水車による給水、学校近隣の応急給水拠点設置訓練等
		仮設トイレ組立訓練	環境局 宮前生活環境事業所	仮設トイレの組み立て訓練等
		ライフライン代替資機材供給訓練	(社)神奈川県エルピーガス協会川崎北支部	LPガス応急設置訓練等
			東京ガス(株)川崎支店	ガスメーター復帰訓練、資機材等の展示
		給食訓練	株式会社NTT東日本 - 神奈川	避難所への臨時仮設電話設置訓練 衛星電話の設置訓練等
				171体験訓練(安否情報確認体験訓練)等
		救援物資受入れ訓練	宮前区赤十字奉仕団	炊き出し、配給訓練等
		協定団体等受入訓練	赤帽協同組合神奈川県支部 八都県市	他都県市の救援物資の受入れ、配給訓練等
		地震体験訓練	川崎市アマチュア無線情報ネットワーク	ボランティアの受入れ及び避難所・区本部間の情報伝達訓練
		煙体験訓練	宮前消防署 宮前消防団	起震車による地震体験訓練
		防犯活動訓練	宮前警察署	スモークマシンを活用した火災に伴う煙体験訓練
				災害時に発生する盗難等の事件に対する防犯活動(街歩き)の訓練等
		大型臨時避難所(バルーンシェルター)設置訓練	新日本石油株式会社	倒壊・破損した避難施設に対応するため臨時の避難施設を設置する訓練

防災関係機関等訓練【会場:消防総合訓練場】

8月31日実施

時間	訓練項目	実施者・実施機関等	概要
9:00～ 12:00	宮前区本部運用訓練	宮前区	各避難所からの情報収集等
	情報収集訓練 ボランティア受付訓練 (犬蔵中学校で実施)	川崎市社会福祉協議会 宮前区社会福祉協議会 かわさき市民活動センター 川崎防災ボランティアネットワーク 川崎市アマチュア無線情報ネットワーク かわさきエフエム 市民・こども局 日本赤十字社神奈川県支部ボランティア	ボランティア受付 ボランティアの振り分け 情報収集 各避難所情報の収集及び伝達

時間	訓練項目	実施者・実施機関等	概要	
10:00～ 10:15	通報・救護訓練	宮前地区少年消防クラブ、宮前消防署	平素少年消防クラブが訓練している複合訓練を実施する	
10:15～ 10:20	情報収集訓練	神奈川県タクシー協会川崎支部 神奈川県警察本部地域総務課航空隊	陸上、タクシー運転手による通報 県警ヘリによる情報収集	
10:20～ 10:40	救出救助 援助訓練	通電線処理	東京電力(株)川崎支社	切断された送電線処理
		ガス漏洩	東京ガス(株)神奈川導管ネットワークセンター	倒壊ビルのガス漏洩処理(ビル底部、地中)
10:40～ 11:05	災害現場活動訓練	救護活動訓練 応急救護所	消防局、(社)川崎市医師会、(社)川崎市看護協会、(社)川崎市病院協会、(社)川崎市薬剤師会、日本赤十字社神奈川県支部、健康福祉局、宮前区(保健福祉センター)、宮前地区消防ボランティア	現場直近に救護所を設定、トリアージ及び応急処置の実施
		後方医療機関搬送	消防局航空隊	ホイストによる高所からの救出 後方医療機関への負傷者搬送
10:40～ 11:00	救出救助訓練	倒壊ビル	宮前消防署 NPO法人救助犬訓練士協会	救助犬による要救助者の発見、倒壊ビル(訓練塔)からの救出救助
		倒壊家屋	陸上自衛隊第31普通科連隊 NPO法人救助犬訓練士協会	救助犬による要救助者の発見、倒壊家屋(模擬家屋)からの救出救助
		事故車両	神奈川県警察本部第二機動隊他	交通事故車両からの救出
11:05～ 11:25	道路啓開訓練	道路検問	宮前警察署	道路検問所を開設
		道路障害物の除去	宮前警察署、神奈川建設重機協同組合、(社)川崎建設業協会、宮前区建設センター	要救助者救出後の事故車両等除去
11:25～ 11:35	火災防ぎょ訓練	宮前消防団、宮前消防署	一斉放水等	
	給食訓練	陸上自衛隊第31普通科連隊 宮前区赤十字奉仕団	カレーライス炊事(閉会式後給食)	
11:35～ 11:50	閉会式	参加者全員	宮前区長訓練終了宣言 市長講評、議長講評、宮前区自主防災組織連絡協議会会長挨拶	

広域応援訓練

【会場:北部市場】

8月31日実施

時間	訓練項目	実施者・実施機関等	概要
9:00～ 9:30	広域応援訓練	各都市トラック協会、経済労働局、宮前区	他都市からの救援物資を受領・分配し、各避難所へ搬送する

【会場:多摩区】

8月31日実施

時間	訓練項目	実施者・実施機関等	概要
13:30～ 15:30	広域応援訓練	東京都、川崎市（各水道局）	協定に基づく、登戸連絡管を使用した水道水の供給切り替えを実施

【会場:川崎区】

8月31日・9月1日実施

時間	訓練項目	実施者・実施機関等	概要
8/31 6:45～	広域応援訓練	神奈川県トラック協会川崎支部、健康福祉局、総務局	川崎を除く、八都県市(東京都、神奈川・埼玉・千葉県、横浜・千葉・さいたま市)へ救援物資を第三庁舎から搬送する
9/1 6:00～			

遺体安置所開設訓練【会場:宮前スポーツセンター】

9月1日実施


時間	訓練項目	実施者・実施機関等	概要
9:00～ 11:00	訓練説明	宮前区、神奈川県警捜査一課、神奈川県警鑑識課	訓練進行説明 遺体取扱い時の留意事項
	遺体安置所開設訓練	宮前区、川崎区、健康福祉局、神奈川県警捜査第一課、神奈川県警鑑識課、川崎臨港、川崎、幸、中原、高津、宮前、多摩、麻生各警察署、川崎葬祭具協同組合、(社)川崎市医師会、(社)川崎市歯科医師会	遺体受入れ 記録作成 所持金品保管(遺体洗浄) 警察官引継ぎ(検視) 検視終了後警察官より引継ぎ(消毒・遺体縫合等) 遺体引渡し等(所持金品等返還)
	訓練反省・検討会	宮前区	反省・検討会を実施後、後片付け



カーボン・チャレンジ川崎エコ戦略(CCかわさき)
地球温暖化対策に向けたかわさきのチャレンジ

CCかわさき推進事務局：
川崎市環境局地球環境推進室

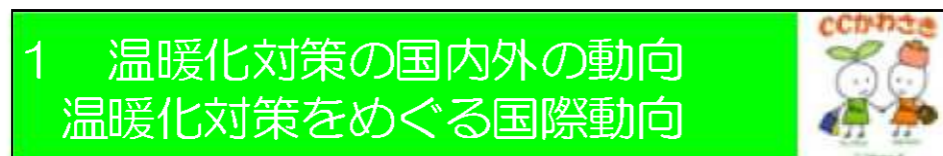
1



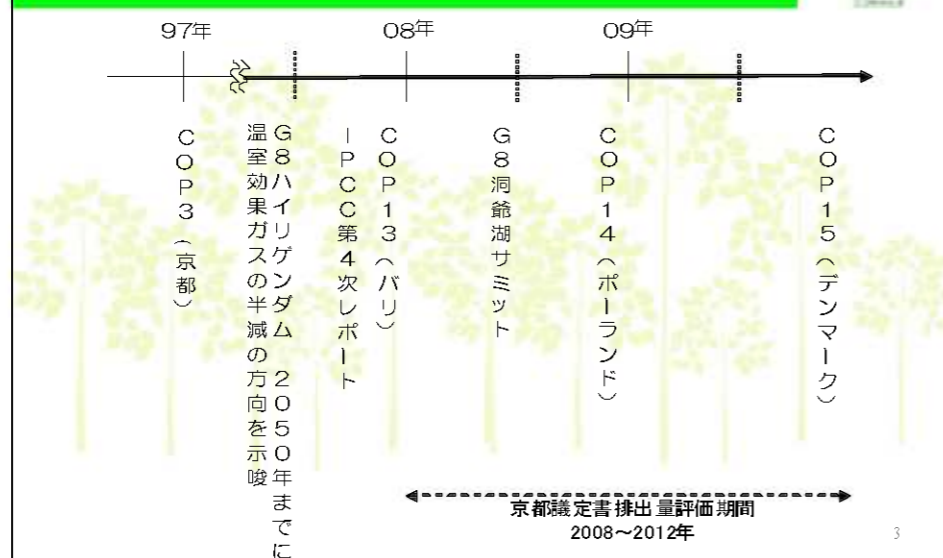
本日の内容

- 1 温暖化対策をめぐる国内外の動向
- 2 川崎市の温暖化対策の状況
- 3 CCかわさき（カーボン・チャレンジ川崎エコ戦略）のこれからの取組

2



1 温暖化対策の国内外の動向 温暖化対策をめぐる国際動向



97年 98年 08年 09年

C O P 3 (京都)

温室効果ガスの半減の方向を示唆

G 8 洞爺湖サミット

I P C C 第 4 次 レポ ー ト

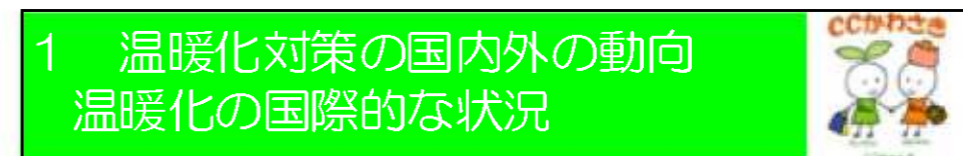
C O P 1 3 (パリ)

C O P 1 4 (ポーランド)

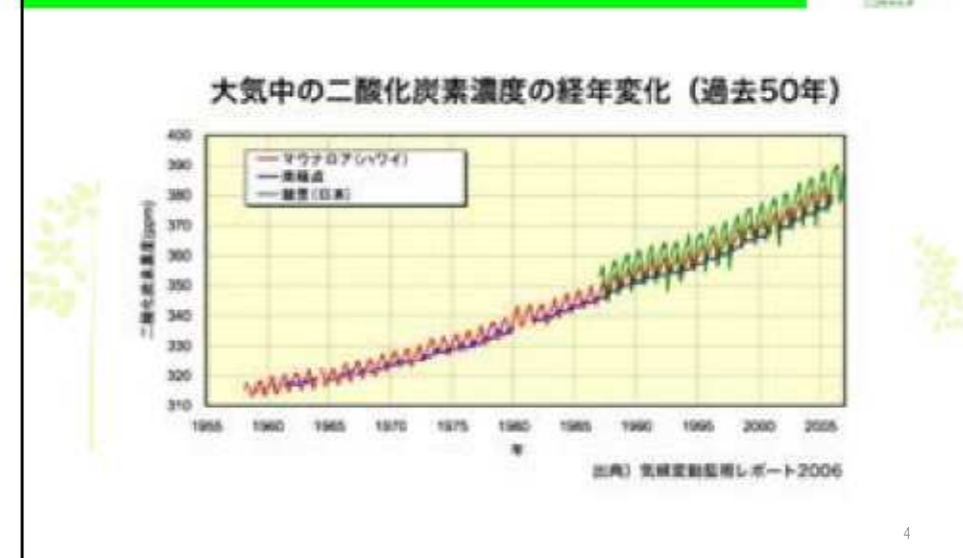
C O P 1 5 (デンマーク)

京都議定書排出量評価期間 2008~2012年

3



1 温暖化対策の国内外の動向 温暖化の国際的な状況



大気中の二酸化炭素濃度の経年変化 (過去50年)

マウナロア(ハワイ) 鹿島 釧路(日本)

310 320 330 340 350 360 370 380 390 400

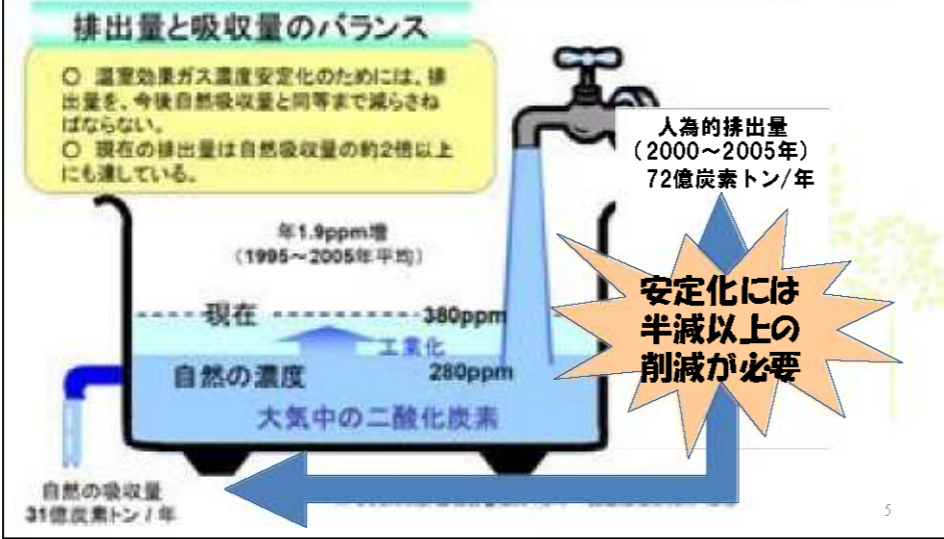
1955 1960 1965 1970 1975 1980 1985 1990 1995 2000 2005

年

出典) 気候変動監視レポート2006

4

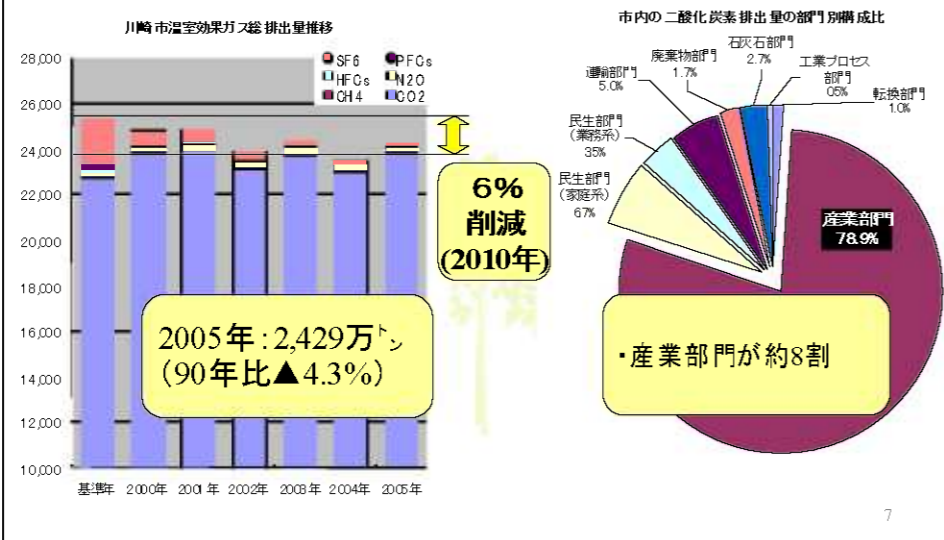
1 温暖化対策の国内外の動向 温暖化の国際的な状況



1 温暖化対策の国内外の動向 京都議定書の第1 約束期間開始



2 川崎市の温暖化対策の状況 温室効果ガス排出量



2 川崎市の温暖化対策の状況 二酸化炭素の排出構造の変化

発生源		1990年	2005年
主な発生源	家庭	1,156.6	1,594.4(1.38)
	業務	742.9	840.8(1.13)
	自家用車	289.0	435.0(1.51)
	貨物用自動車	485.3	427.5(0.88)
	産業	18,020.8	18,810.8(1.04)
計	22,797.0	23,853.8(1.05)	
人口 (1990年を1.00)		1.00	1.13

◆家庭や業務部門での二酸化炭素は、人口増加率以上に、増加しており、一体的な取組が不可欠

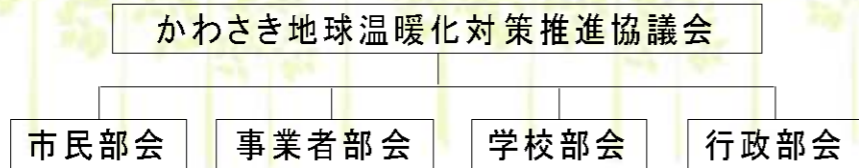
2 川崎市の温暖化対策の状況

かわさき地球温暖化対策推進協議会などの取組



2004.3 川崎市温暖化対策地域推進計画策定
～川崎市の地球温暖化防止への挑戦

- ・市民、事業者、学校、行政等主体別取組を位置づける
- ・2010年のCO₂を6%削減（1990年比）
- ・「かわさき地球温暖化対策推進協議会」を組織



2 川崎市の温暖化対策の状況

かわさき地球温暖化対策推進協議会などの取組



1店1エコ運動とエコ調査隊



レジ袋削減に関する協定の締結

3 CCかわさきのこれからの取組



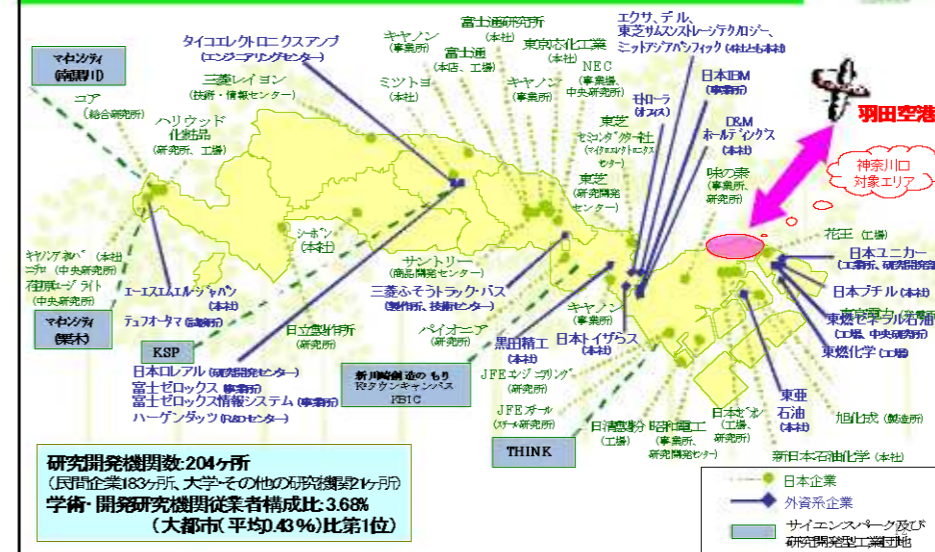
- ・川崎市の地球温暖化対策の基本戦略を2月に発表

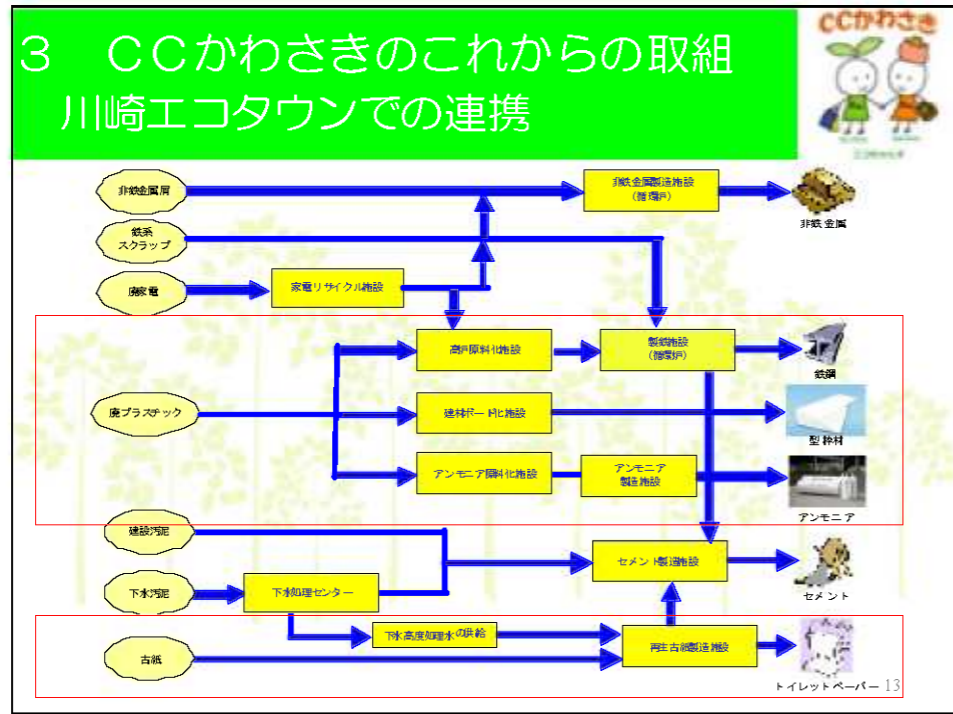
基本的考え方

「環境」と「経済」の調和と好循環を推進し、持続可能な社会を地球規模で実現するため、全市を挙げて取組む

- I 川崎の特徴・強みを活かした環境対策の推進
- II 環境技術による国際貢献の推進
- III 多様な主体の協働によるCO₂削減の取組の推進

3 CCかわさきのこれからの取組 技術や研究開発機能の集積





3 CCかわさきのこれからの取組 川崎地下街での「水和物スラリ」を利用した高効率省エネ空調システムの導入事例

(主体)
川崎アゼリア株式会社

(効果)
年間1,188t-CO2削減
(補助)
環境省補助事業(環境と経済の好循環のまちモデル事業)

3 CCかわさきのこれからの取組 CO2削減川崎モデルの構築

- 環境と経済の好循環「CO₂削減川崎モデル」を構築し、市内の先端環境技術によりCO₂排出削減を目指す
- 製品やサービスのライフサイクルでの対策を評価する川崎独自の仕組みを構築
- 見えない効果も含めて、CO₂削減の取組を評価

新たなCO₂削減効果(見えない効果)の評価(イメージ)

I 他地域・他国への環境技術移転に伴う効果 環境技術の移転に伴い、他地域や他国で排出するCO ₂ 削減効果	II 他都市・他国への普及に伴う効果 市内の製品やサービスの普及促進による使用時までの省エネ効果
---	---

① 電力消費削減効果
② 資材生産によるエネルギー削減効果
③ 軽量化による燃費向上効果
④ 長寿命・省エネ製品の活用による効果

⑤ 新たな削減効果=間接効果
低CO₂製品やサービスの普及による間接効果に伴う評価=①or②+③+④

市内の製品やシステム

3 CCかわさきのこれからの取組 川崎臨海部での企業連携による省エネルギー事業の事例

事業主体：川崎スチームネット株式会社

蒸気供給先 近隣10社

蒸気供給源 東京電力(株) 川崎火力発電所

蒸気供給量 年間約30万トン

蒸気供給開始時期 2009年度下期

年間の省エネルギー効果
約1.1万キロリットル(原油換算)、約4%
※一般家庭約9,600世帯分の年間1人1人消費量に相当

年間のCO₂排出量削減効果 約2.5万トン
※一般家庭約4,700世帯分の年間CO₂排出量に相当

蒸気供給源(東京電力川崎火力発電所)
世界最高水準の発電効率59%

3 CCかわさきのこれからの取組 「先端産業創出支援制度」(イノベート川崎)の創設

●対象事業者 環境、エネルギー、ライフサイエンス分野の先端技術を事業化するため事業計画を策定する者

●対象地域 都市再生緊急整備地域(川崎駅前・大宮市可成地域、浜川崎駅前地域)地域再生計画の支援措置適用地区(水工町地域内公共用地)

●適用要件 【最低投資額】
大企業:50億円以上
中小企業:10億円以上(市内中小企業:2億円以上)
【雇用要件】
大企業:50人以上(常雇雇用者)
中小企業:10人以上(常雇雇用者)

●支援内容 【助成対象経費】:
事業所の増設・改修工事費、建物・設備の取得等に要する費用
【助成率】:助成対象経費の10%
【助成上限額】:10億円
【交付方法】:事業終了後、3年度以内の分償交付

●事業期間 平成20年4月1日から平成25年3月31日まで

●認定手続 認定審査会を開催し、専門家意見を参考として認定の可否を決定

●その他 助成金の交付を受けるものは、事業終了後10年以上事業を継続しなければならない

●対象地域 川崎駅前・大宮市可成地域、浜川崎駅前地域、水工町地域内公共用地

●交付までの流れ
① 申請書の提出
② 認定審査会の開催
③ 認定書の交付
④ 事業の開始
⑤ 事業終了後の報告書の提出

① 認定申請書受付(平成20~24年度) ② 認定決定(認定後3年以内)に事業開始(認定後3年以内)に事業開始

17

3 CCかわさきの取組 環境分野での国際貢献

川崎の地から国内の環境技術・製品等の情報を広く世界に発信
環境技術の移転による国際貢献・産業交流を実現

アジア諸国 地球環境問題の解決に貢献

水物スラリ 蓄熱空調システム
川崎E.P.・E.C.P.の工業団地
慶応SAPPAの創設
環境空気共同利用事業
自転車用 乾型 浄水機

18

3 CCかわさきのこれからの取組 国連グローバル・コンパクト、かわさきコンパクトの推進

(国連グローバル・コンパクト)

- 国際連合が提唱する企業・団体の自主行動原則
- 人権、労働、環境、腐敗防止の4分野で世界的に確立された10原則を支持し、実践するように呼びかけるプログラム
- 川崎市は、都市として日本で初めてこのプログラムに参加

(かわさきコンパクト)

- グローバルコンパクトの市内展開として、市内でこの理念を追求するかわさきコンパクトを推進

19

3 CCかわさきのこれからの取組 UNEP連携など、環境技術の発信等

○国連環境計画(UNEP)との連携により、市内企業の優れた環境技術や本市の環境保全の経験を活かし、工業化途上の都市の環境対策や環境配慮の取組への貢献を推進

UNEPエコタウンプロジェクト会議を川崎で開催(2007年10月)
【参加都市】
インドネシア・バンドン市、ベトナム・ダナン市、インド・ムンバイ市、マレーシア・ペナン市

川崎市長と参加4都市の出席者

○UNEPエコタウンプロジェクトの成果を共有する場として、「アジア太平洋エコビジネスフォーラム」を川崎市が主催、第5回は2009年2月16日~18日開催

○川崎国際環境技術展の開催(2009年2月17日、18日)

川崎の環境への取組や立地企業の有する優れた環境技術、更には川崎の特徴である生産工程に組みこまれた環境技術等を国内外へ積極的に紹介

市内企業の環境ビジネス及び環境技術の移転による国際貢献・産業交流を促進

①市内企業等による環境技術を用いた製品・サービスの展示会
②出展企業の事業所等のエクスクーリション など

20

3 CCかわさきのこれからの取組 産業技術や研究開発機能の集積

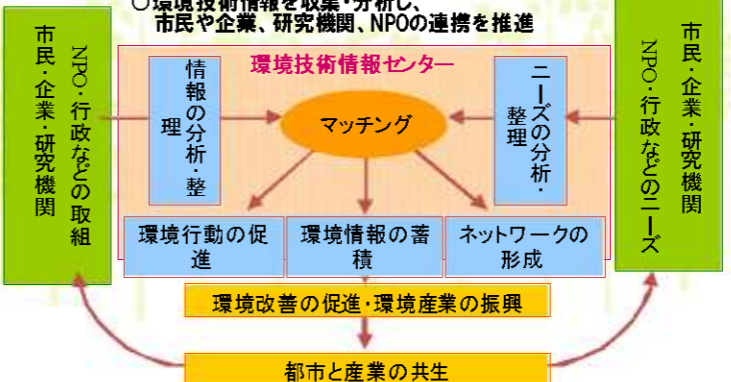



21

3 CCかわさきのこれからの取組 環境総合研究所環境技術情報センター整備

- 環境技術情報の収集・発信、産学公民連携による共同研究及び環境学習などを実施し、国際社会に貢献する「環境総合研究所」を構想
- 環境総合研究所の整備に先駆け、5月に環境技術情報センターを開設
- 環境分野における川崎のプレゼンス向上、環境技術力の発揮による産業振興を目指す。

○環境技術情報を収集・分析し、市民や企業、研究機関、NPOの連携を推進



22

3 CCかわさきのこれからの取組 多様な主体の協働によるCO2削減


川崎発！ストップ温暖化展 08.02.15～16



23

3 CCかわさきのこれからの取組 家族みんなでCO2削減にチャレンジ

マイバッグの持参 エコドライブの実践



1. ふんわりアクセル
2. 加減速の少ない運転
3. 早めのアクセルオフ
4. エアコンの使用を控えるために。
5. アイドリングストップ

24

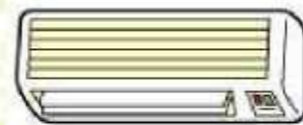
3 CCかわさきのこれからの取組 誰にでもできるCO2削減



より電力消費量の少ない
白熱電球から電球型蛍光灯へ
の買換え



28度の高めの
冷房温度の設定



3 CCかわさきのこれからの取組 多様な主体の協働によるCO2削減



緑のカーテン大作戦



市民共同発電所の設置

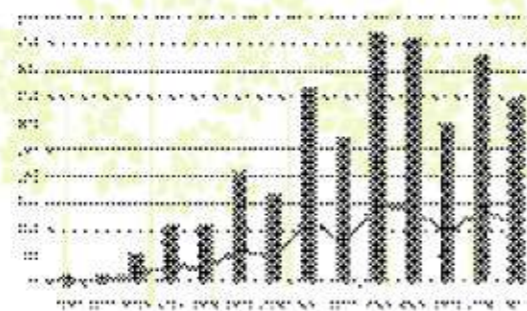


エコウェーブ

3 CCかわさきのこれからの取組 多様な主体の協働によるCO2削減



住宅用太陽光発電設備補助事業
1kWあたり3万円、上限12万円



多様な主体の協働によるCO2削減の取組



- 川崎市役所の率先した取組
(グリーン電力購入の推進)
 - ・低CO2電力や太陽光や風力などの再生可能エネルギーによる電力を購入
 - ・カーボンオフセットし、再生可能エネルギーの拡大を需要側から牽引
 - ・今年度は本庁舎、第2庁舎及び第3庁舎においてモデル実施
消費電力の5%分のグリーン電力証書を購入
 - ・グリーン電力証書の利用例
7月7日エコウェーブの日、本庁舎電力
環境ミーティングなど各種行事
- (公共施設へのESCO事業の導入)
 - ・宮前及び麻生区の市民館・図書館で市有施設初のESCOモデル事業を展開
- (公共施設への屋上緑化・壁面緑化の推進)
 - ・「緑のカーテン大作戦」として、公共施設への屋上緑化・壁面緑化(ゴーヤ等)を推進
 - ・区役所を中心にゴーヤの種子を市民・事業者へ配布し、普及啓発を推進
- (区の取組:エコシティかつ等、啓発イベント・情報発信の協働実施)

3 CCかわさきのこれからの取組 CC川崎エコ会議による取組



推進体制

●川崎温暖化対策推進会議(CC川崎エコ会議)の創設
全市の多様な主体(市民、事業者など)による地球温暖化対策の推進ネットワークを形成し、各主体が連携して温暖化対策活動に取り組む。

- (1)CO2削減川崎モデルの推進
- (2)ネットワークの充実による「CCかわさき」の推進
- (3)戦略的情報発信

3 CCかわさきのこれからの取組 計画改定、条例策定



「地球温暖化対策地域推進計画」改定

・市民・事業者等と協働し、排出量の把握と削減目標の数値化及び実効性のある施策のとりまとめ

「(仮称)地球温暖化対策条例」制定

・推進計画をより実効性あるものにするため、温暖化対策のルールとして条例化

